

新サイエンスゾーンにおけるオープンイノベーションの加速

【令和元年度予算額 48,300千円】
（うち当初予算計上 15,300千円）

農林水産3分野のサイエンスゾーンを核に、徳島大学をはじめとする高等教育機関、民間事業者など
産学官連携による革新技术や生産性向上・低コスト生産・品質向上技術を開発し、生産現場への実装を加速

気候変動対策の技術開発を加速！

新 気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト

13,000千円／補正

◆ 温暖化を効果的に活用

- ・ 熱帯果樹ハウスにおける、パイナップル、マンゴーなどの低コスト栽培技術の開発及び本格栽培に向けた市場調査や経営的評価の実施



◆ 影響回避への新たなチャレンジ

- ・ 貯蔵性に優れた「スダチや温州ミカンの晩生品種」の開発
- ・ 色調に優れ高水温耐性のある「ワカメ晩生系統」の選抜・育成
- ・ 冬期の大雨による低塩分の環境にも適応する「スジアオノリ系統」の選抜



◆ 影響を軽減する適応技術の開発・実装

- ・ アザミウマ類など世代交代が早く薬剤耐性を獲得しやすい微小害虫に対する農薬の効果を生産現場で確認できる「薬剤感受性検定簡易キット」の開発
- ・ 秋期の大雨による野菜の「播種や定植遅延」・「湿害」軽減のための「緩傾斜整備技術」の実装
- ・ 夏期の空調コスト低減のための昼夜間の変温管理による「菌床しいたけ低コスト栽培技術」の開発



スマート農林水産業・新技术開発を加速！

新 生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業

◆ スマート農林水産技術の開発・実証 5Gを見据え 20,000千円／補正

- ・ トンネルニンジンにおける「ICT栽培管理支援システム」の開発
- ・ AIによる画像解析を活用した果樹の生育診断技術や害虫の発生予測システムの開発
- ・ IoT・AIを活用した水質情報のリアルタイム配信・予測ネットワークの開発



水温・塩分観測地点の充実

県産肉牛のさらなるブランド化を加速！

新 県有種雄牛造成体制整備事業

◆ 優良種雄牛の造成

7,000千円／当初

- ・ 種雄牛の「飼育及び精液採取」にかかる技術習得
- ・ 優良精液の安定的な生産・供給体制の整備



サイエンスゾーンへの企業参入を加速！

農林水産サイエンスゾーン企業参入スタート事業

◆ 県外参入企業のスタートアップを支援

8,300千円／当初

- ・ 農場等の整備に係る設備・機械等導入支援
- ・ 栽培技術や経営管理など従業員のスキルアップを支援
- ・ 候補地の栽培環境調査等を支援

新たなインセンティブ



競争力のある本県農林水産業の成長産業化を実現！

担当：農林水産総合技術支援センター経営推進課

新 クリエイティブ産業育成事業

【令和元年度予算額74,000千円】
（うち当初予算計上額13,000千円）

目的

「クリエイティブ関連企業」と「クリエイター」の集積を加速させ、商品・サービスの差別化や高付加価値化（ブランディング）を推進



1. クリエイティブ人材育成 「最先端技術 × 教育」

クリエイティブ人材の更なる育成 当初: 13,000千円

- 企業内人材向け
「高等教育機関」や「サテライト企業」と連携し、IoT、ビッグデータ、AI、eスポーツ、5G等をテーマとしたセミナーやワークショップを開催
- 小学生～大学生向け
若年層を対象として、プロジェクションマッピング・ゲーム・VR等の「プログラマー」、「クリエイター」及び「アニメーター」育成講座を開催



2. 4K・VR 「4K・VR × 文化」

本県文化芸術と融合した情報発信の推進 補正: 28,500千円

- 全国で唯一の「4K・VR専門映画祭」において、新たに「徳島4K文化賞(仮称)」を創設し、「あわ文化4大モチーフ」を題材とした作品を公募し、国内外に情報発信
- 「4K動画」のアーカイブに加え、歴史的価値のある「写真」や「文献」を4K化し、レガシーとして継承
- 「4K・VR徳島映画祭」の実施にあわせて、「徳島アーカイブス月間」を設け、これまで収録した4K文化芸術映像を広く発信さらに、「5G実装」に向けた技術の体感



3. デジタルアート 「4K × デジタルアート」

官民挙げたデジタルアートの全県展開 補正: 21,500千円

- 「4Kプロジェクションマッピング公募作品」等を活用し、イルミネーション関連イベントや「あすたむらんど」などの公の施設で展示するなど広くPR
- 市町村や民間のデジタルアート常設展示を支援するデジタルアート作品導入支援事業費補助金(仮称)を創設し、デジタルアートの全県展開を加速!



4. ブランド化 「企業 × クリエイター」

商品・サービスの更なる高付加価値化 補正: 11,000千円

- デザイン普及啓発の場として、「デザインフォーラム」を開催し、ブランディングの重要性について意識醸成を図る
- 商品・サービスの差別化やブランディングの実践を目的としたセミナーやワークショップなどを開催し、企業の意識向上とクリエイターとのマッチングを促進



本県産業の新たな発展基盤を創造し、「とくしまインダストリー4.0」を実現!

担当: 企業支援課

新 とくしまIoT・AI等ソリューション実装事業

【令和元年度予算額 10,000千円】

ゼロリスクを求めず
新技術を積極活用！



R元

実装展開により県民の実感へ

ジャンプ!!!

とくしまIoT・AI等実装化展開事業

IoT・AI・5G等を活用した地域課題の解決

■ 集落機能維持モデル事業

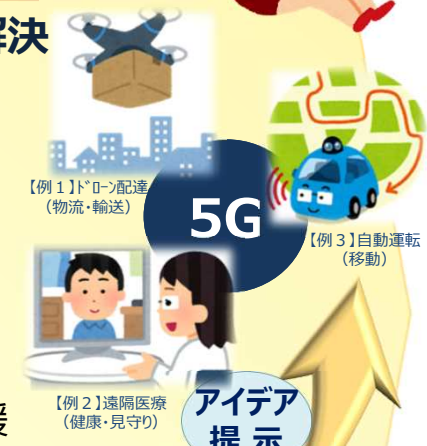
- ・ 人口減少社会における様々な課題に対し、**「新しい集落像」を創出**

■ IoT・AI等ソリューション実装化事業

- ・ **新たなソリューション (モノ・サービス)** の創出への支援
- ・ IoT利活用モデルの**他地域への展開**を支援

とくしまIoT等推進ネットワーク事業

- ・ 産学官が交流し、活発な意見交換
- ・ 他業種間の企業マッチング
- ・ IoT・AI・5G等への理解促進セミナー
- ・ イベント等での情報発信



H29 実証

■ 「IoT利活用の実証」に着手

- ・ 鳥獣被害軽減装置の開発
- ・ 介護現場へのロボット導入等



捕獲情報をメールで通知



H30 実装

■ 「IoT利活用モデル」の実装

- ・ 水道検針メータのIoT化モデル
- ・ 避難力向上に繋がる活動へのポイント付与モデル

データ送信による検針作業の効率化



【水道メータ】

ポイント付与により歩行促進・体力増進

【歩行データ収集デバイス】

■ 「とくしまIoT等推進ネットワーク」の設立

- ・ IoT等を活用し、地域課題解決を図る産学官連携組織

効果的な活用！

とくしまインダストリー4.0の実現へ

助言



「とくしまインダストリー4.0」の実現による課題解決の具現化

担当:地域振興課

とくしまものづくり産業イノベーションの推進

- AI・ロボット地域産業イノベーション推進事業【令和元年度予算額8,000千円】
- (新)農工商連携新分野進出支援事業【令和元年度予算額2,500千円】
- 新市場開拓チャレンジ企業支援事業【令和元年度予算額6,500千円】

事業の目的

本県ものづくり産業の活性化を図るため、工業技術センターが有するロボット関連要素技術を駆使し、現場の課題を解決する高付加価値なロボット開発に取り組み、県内企業の「新分野進出」と「技術力の向上」を促進するとともに、県外企業とのつながりに重点を置いた販路開拓支援に取り組む。

取組内容

現場課題解決型ロボットの技術開発

育児・介護現場等の負担軽減

人工感性知能(AI)ロボット開発

育児現場等で声を認識・分析し、感情等を認識
～職員をサポートするロボットの開発～

音声による
感情認識



画像による
精神状態認識

画像からの精神分析機能を併用

育児・介護現場の
職員サポート機能
の向上



セキュリティ対策
(公共施設・イベント会場・
駅・空港・商業施設等)

他分野への展開

ドローン操作支援技術開発

工業技術センターが有する
要素技術を応用し、
自動操縦機能を
ドローンへ付加

障害物を
自動で回避



～ドローンの操作が容易に～

インフラ等の維持管理
現場の安全性・作業効率
向上

農作業現場の省力化・生産性向上

「ものづくり企業」と「農業者」の連携による農作業現場の課題解決

藍収穫作業の省力化

～「自動刈取ロボット」の開発～

【現状・課題】
■長時間の収穫作業
■手押し刈取機
■重労働な運搬作業

自動刈取
ロボット

自動走行
機能

自動運搬
機能

- 作業時間短縮
- 少数で作業が可能
- 運搬作業の省力化



藍の生産拡大

省力化

沈殿藍の生産効率向上

～「沈殿藍精製機」の開発～

【現状・課題】
■長時間の抽出作業
■手作業による攪拌
■頻回なpH調整

沈殿藍
精製機

自動攪拌
機能

自動pH
調整

- 抽出時間の短縮
- 攪拌作業の省力化
- pH調整の省力化



効率化

販路開拓支援 ～県内企業と県外企業とのマッチング～

「販路拡大につながる」効果的な商談会の開催

徳島県ものづくり新技術展示商談会

訪問型

～県内企業数十社が県外大手企業を
訪問し、優れた技術・製品をPR～



徳島ビジネスチャレンジメッセ

～県内最大の産業見本市～

県外企業 多数
海外企業 招聘

地元の利を生かした
厚みのあるPR



招聘型

支援

ハンズオン支援

- > 出展製品・技術のブラッシュアップ
- > 商談リカレント教育
- > 商談会後の継続したフォローアップ

徳島ものづくり「橋渡し」ネットワーク

- > 県外企業のニーズ収集
- ↳ 県内企業へ提供
- > 県内企業と県外企業のマッチング



事業の効果

・インダストリー4.0の実装による地域課題解決

・本県ものづくり企業の新市場展開と販路拡大

担当：新未来産業課、工業技術センター

新 未来をひらく「新3K・建設産業」創生事業

現状

労働者の高齢化
若手入職者の不足

課題

■生産性向上 ■人材育成 ■魅力アップ

「働き方改革」により
担い手確保！

【令和元年度予算額 7,000千円】
（うち当初予算計上 2,344千円）

生産性向上

仕事の効率化

ICTが現場を変える

■ i-Constructionの推進

○ ICT施工のさらなる推進

- ICT活用工事の拡大【倍増】
- 砂防工事等、新たな工種に展開

○ 推進の鍵となる「人材づくり」

新 “企業向けの研修を提供する 平成長久館 と連携”

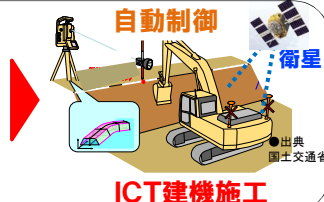
- 経営者の意識改革 ICT活用推進トップセミナー
- スペシャリスト養成 3次元CADデータ作成等講習会
- 技術の普及・促進 ICT活用工事の現場講習会

“四国4県でトップの実績数！”
“作業工数の大幅低減！”

ICT現場講習会



ICT活用工事



○ IoT活用による業務効率化を推進

- 新 ➢ ウェアラブル端末等の最新機器を活用したWEB立会の検証拡大
- 情報共有システム(ASP)の活用による書類作成の省力化



人材育成

リカレント教育

個々の能力を伸ばし生産性向上

■ 技能・経験に応じたスキルアップ

新 ➢ 高齢者等の事故を防ぐ安全教育・体力づくり

アクティブシニアの活用！

- 技能向上・資格取得に向けた講習会等の開催



魅力アップ

情報発信

新3Kへと変わる建設現場を伝える

■ 建設産業の「魅力・やりがい」発信

○ 学生から保護者まで幅広く「魅力」をアピール

- 新 ➢ 建設産業の災害出動等の知られざる役割や先端技術を駆使した現場をリーフレットで紹介
- アシストロボットやVR等、最新技術を出前講座で紹介



○ 「やりがい」を心に刻む体験企画

- ものづくりを体感する現場見学会・作業体験
- 女子学生が女性技術者との交流により働くイメージをつかむ建設女子カフェ



（新3K）カッコイイ、快適な、希望の持てる「スマートな建設産業」を実現！

担当：建設管理課

未来志向のとくしま版「働き方改革」の推進

【令和元年度予算額37,500千円】
【うち当初予算計上7,500千円】

課題

ワーク・ライフ・バランス
超過勤務の縮減

複雑・多様化する行政課題
迅速かつ的確な業務執行

シームレスな業務継続
業務体制の早期確立

新技術を活用し、徳島ならではの働き方改革を实践

6月補正 テレワークの推進
フリーアドレス制の導入

自動文字おこし・
AI要約システムの導入

グループウェアを
活用したFAQの掲載

引き続き実施・拡大

さらに 新たな取組

6月補正 AIを活用した効率的なFAQシステムの導入

① 膨大なFAQを
集約管理

② 回答をAIが
適切に選定

③ 対話形式で
瞬時に回答表示


FAQイメージ

Q 質問をテキスト入力

全庁ファイルサーバに
接続できない

A 直後に回答を受取

次の手順に従って接続設定
を行ってください...



引継ぎ・回答事項を
体系的に整理!



短期間で
引継ぎが可能に!



内部ネットワークでの運用により
情報セキュリティも万全

対応・取組

効果

業務の効率性と県民の皆様へのサービスを向上!

新

とくしまれごと AI コンシェルジュ(仮称)事業

愛称公募

【令和元年度予算額 35,000千円】

society5.0

平成30年度運用開始

県政全般の基本的な質問に対応
「すだちくんコールFAQ」

関心の高い分野を追加

about
Tokushima

手続きはどう
すればいいの?

- 食の安全・安心
- 被災者支援資金
- 消費生活
- 障がい者雇用

約10,000問
に対応

- 移住・空き家
- 観光・インバウンド
- 外国人サポート
- リカレント教育 等



徳島県に関する 様々な問合せに 自動回答するAIを活用した 総合窓口
とくしま ・ まるごと ・ AI ・ コンシェルジュ

◆ワンストップ化+24時間・365日対応

- 自然言語での問合せ (チャットボット)
- AIが最適な回答を選定
- 満足度を測定
- 県民ニーズに応じ
FAQの追加
カテゴリーを入替え



◆多言語対応

自動翻訳により様々な言語に対応
(英語・中国語・韓国語・ベトナム語 etc.)



◆コールセンター機能強化 職員の働き方改革



◆システム一元化 構築・運用費用の削減

パソコンやスマートフォンからの
問合せがいつでも可能!



利便性向上

電話からの問合せには
コールセンターが回答!



2020年実装

知りたいことがすぐわかる! 暮らしたい、住んでみたい徳島へ

担当: 監察評価課県庁ふれあい室

新 自動車税納税キャッシュレス化推進事業

【1,057千円】

納税手段の拡大・キャッシュレス化推進

- ・インターネットバンキング
- ・クレジットカード収納

令和2年度自動車税から導入

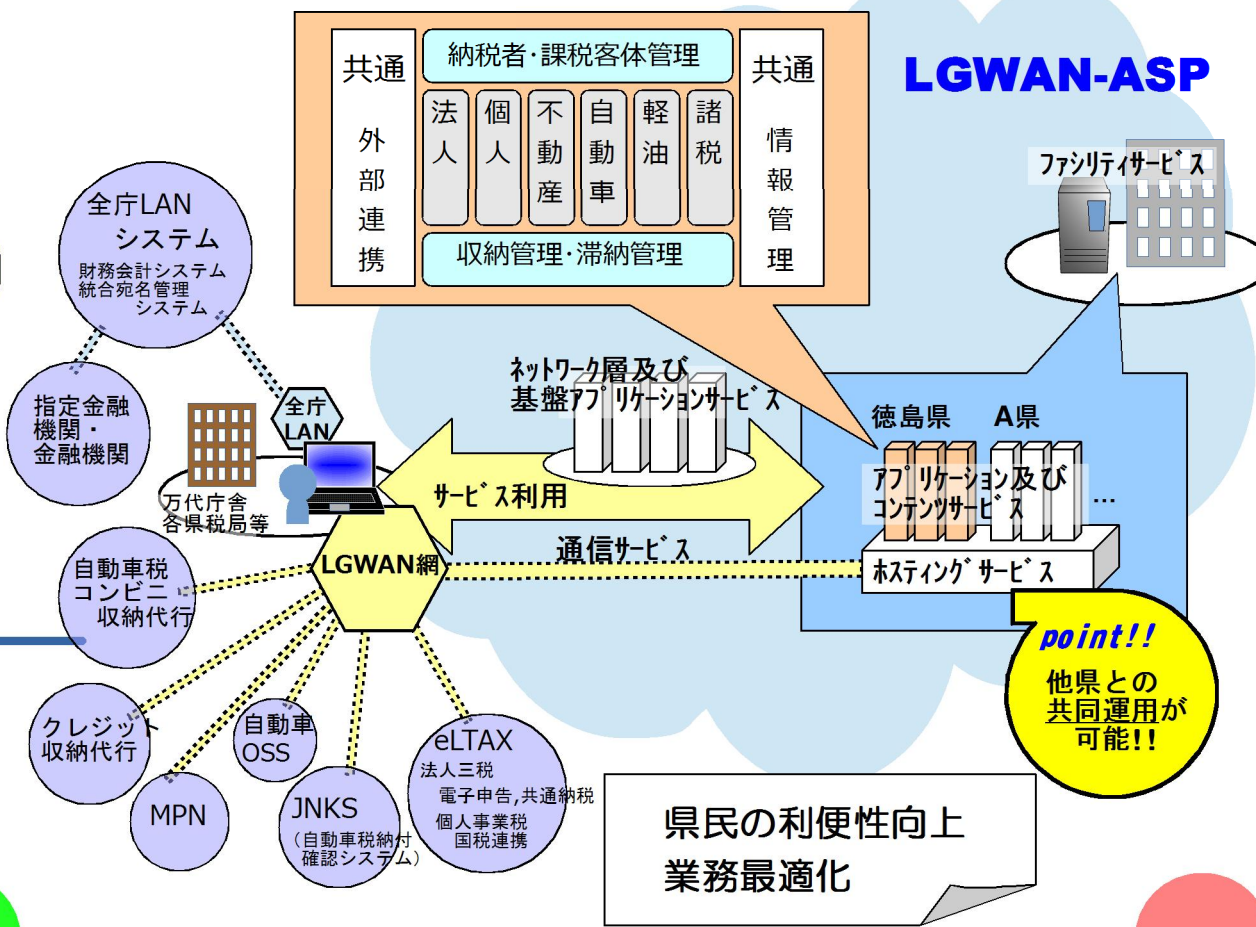
新 県税システム・スマート化推進事業

【236,352千円】

システム運用経費の更なる削減と業務のスリム化

- ・税務パッケージソフトを利用した **LGWAN-ASP** を導入

令和4年1月 運用開始予定



担当：税務課

新 シームレスなスマート会計実装事業

【令和元年度予算額 15,500千円】
【うち当初予算計上 12,250千円】

これまでの取組み(～平成30年度)

◆ RPAを活用した会計事務の自動化実証

資金安定供給・会計事務効率化検討チーム(タスクフォース)



各部局と連携

RPA概要説明会

RPA操作研修会

目標:PC作業時間の9割減

6業務27パターンで
RPA効果測定

パソコン作業時間の
96.2%を削減

◆ 大規模災害時における資金の安定供給

- ・「大規模災害時資金安定供給連携協議会」の設置
- ・総合防災訓練において資金安定供給訓練を実施
- ・相談の手引きを作成し、訓練で活用
- ・AIによる資金コンシェルジュ(FAQ)の構築



市町村・関係団体・各部局と連携

資金安定供給連携協議会

資金安定供給訓練



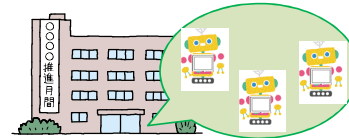
相談窓口

災害時における円滑な
資金供給体制

最新技術を活用し、シームレスな会計事務を実装

◆ RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の本格実装

- ・実証事業において作成したシナリオを**全庁へ展開**
- ・**災害時の支出事務**にもRPAを活用することで迅速な対応が可能
- ・会計事務はもとより他業務への波及を目指した体制整備

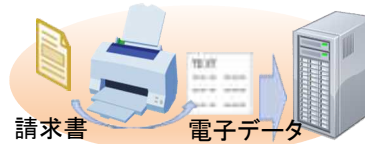


実証事業の成果を
全庁へ波及

パソコン作業をロボットが代行

◆ AI技術を用いたOCR(光学文字認識)読取り実証(6月補正)

- ・紙媒体の帳票から必要な情報をデータ化する**技術コンペ**を実施
- ・**RPAと連結**させることで更なる効率化が期待



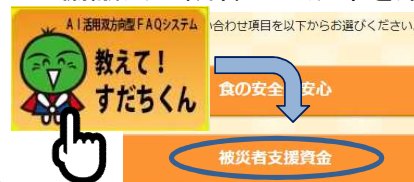
請求書

電子データ

入力作業の自動化で
入力ミス・ゼロ

◆ AIコンシェルジュ(FAQ)の本格実装

- ・発災時においても、**WEB上でいつでもどこでも**被災者の資金面での相談に対応
- ・資金の給付、融資、減免、債務整理など豊富な支援メニュー
- ・協議会や訓練での成果を踏まえて、**回答精度の更なる向上**



AIコンシェルジュが
24時間対応

被災者の円滑な生活再建を側面的に支援
AI・RPAの活用による「働き方改革」の実現

新 とくしまドローン操作育成プロジェクト事業

【令和元年度予算額 1,100千円】

現 状 課 題

- 長大法面や橋梁など、目視点検が困難な箇所においても効率的な維持管理が必要
- 災害が頻発化・激甚化する中、被害状況等の迅速かつ正確な把握が求められている

方向性

平時から災害時まで
ドローンを活用



【平時】 県土強靱化・魅力発信

- インフラの維持管理に活用
- 空撮による土木施設の魅力発信
- 工事進捗状況の見える化

【災害時】 対応力向上

- 被災状況の初動調査に活用
- 早期復旧に向けた迅速な対応
- 災害対応の現場力向上

平成30年7月豪雨で ドローンの効果を再認識

- 被害状況の迅速かつ正確な把握
- 安全な被災調査
- 災害査定用図面の早期作成



【平時】 スキルアップ

- ① 若手職員を中心に高度な人材育成
(国土交通省認定スクールで受講)
- 計画的な人材育成による運航体制を確立
(3年間で各庁舎に配置)
- 継続的な飛行訓練による技術力向上
(認証を受けた職員が業務に活用、後進を育成)



【大規模災害時】 支援強化

- ① TEC-徳島「ドローン班」新設
(徳島県緊急災害対策派遣チーム)
- 被災地への支援力強化
- 被害調査の効率化による支援エリアの拡大
- データを蓄積し、大規模災害に備える



人材育成とスキルアップにより、大規模災害対応力の向上へ！

担当：建設管理課・砂防防災課

i. 施設老朽化が進行する中での安定供給の確保

厳しさを増す経営環境

ii. 競争激化により不透明さが増す中での経済性の発揮

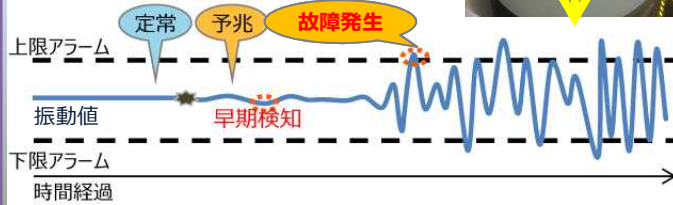
iii. 「働き方改革」をはじめとする社会的要請への的確な対応

AI異常予知システムの実装

- 水車発電機(勝浦発電所)に振動センサーを設置
- 蓄積データから、微少な**予兆を検知し故障を回避**
- シームレスな監視による機器状態の「見える化」



予防保全から**予知保全**へ



AIトラブルシューティング支援システム 構築:H30

- 事故トラブル履歴・約3,000件をデータベース化
- 故障発生時に最適な事例を分析し復旧を支援

方向性

- **運営の効率化**
 - 異常発生時の迅速な設備確認
 - 高所等危険箇所点検の軽減
- **保守管理の高度化**
 - 点検周期の合間の解消
 - 機器更新時期の最適化
- **業務の質的向上**
 - 技術・ノウハウの蓄積・継承
 - 標準化・省力化

AI・ビッグデータ

サービスの向上

IoT

点検ロボット

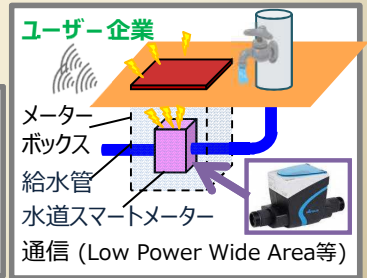
工業用水道スマートメーターの導入

- 阿南工水ユーザーから順次導入し**省力化**を推進
- 使用水量の常時監視による超過・漏水等の**水管理の適切化**



- 職員が毎月現地にて検針
- 使用水量はその時点で判明

- 企業局
- ユーザー企業



■ ドローンによる現場力強化 実用性・有効性の検証

- 漏油事故発生時の緊急対策(油吸着マット設置)への活用
- 赤外線センサーによる**太陽電池パネルの不良箇所検査**への活用

■ 施設点検用ドローンの開発

- (徳島大学との共同研究)
- ダム・発電所等で**安全・効果的に飛行**できる機能を実装
- センシング技術による**衝突の回避**

全国初の試み

■ ドローンの遠隔操縦と自動飛行実験(徳島大学との共同研究)

- ネットワーク技術による遠隔操縦で**総合管理推進センター(徳島市)から70km離れた坂州発電所(那賀町)の計器類をモニター**



先進技術活用による持続可能な経営の確立

担当: 事業推進課・経営企画戦略課

農林水産業未来創造基金積立金・活用事業

【令和元年度予算額：農林水産業未来創造基金積立金500,000千円，農山漁村未来創造事業330,000千円，活用事業73,000千円（再掲）】
（うち当初予算計上：農林水産業未来創造基金積立金500,000千円，農山漁村未来創造事業200,000千円，活用事業52,000千円（再掲））

TPP11や日EU・EPAの発効など進展するグローバル化に迅速かつ戦略的に対応し、「守り」と「攻め」の対策による本県農林水産業の体質強化・競争力強化を図るため、「農林水産業未来創造基金」を活用し、農山漁村未来創造事業をはじめ経済グローバル化対策を重点的に展開

総額4億円 充当

農林水産業未来創造基金

- ◆ 国際環境の変化を「迎え撃つ」ための対策予算として、平成28年4月に県単独で創設
- ◆ 財源を「見える化」し、「長期的」で「きめ細やか」な支援を行うことで、農林漁業者の不安を払拭し、意欲的な取組を後押し

農山漁村未来創造事業

【基金330,000千円】

「若手農林漁業者」による「スマート農林水産業」等の取組や「輸出拡大」や「インバウンド誘客」のための施設整備を優先的に支援！

企画提案型

地域のニーズに応じた
創意工夫のある取組を
ハードとソフトの両面から支援

- ハード補助率<上限> 1/2以内<最大25,000千円>
- 事業期間 最大3か年
- ソフト補助率<上限> 定額<2,000千円>〔ハード事業の効果を増進する取組〕

これまでの主な成果



下記の取組を「優先採択」、原則「補助上限額25,000千円まで引上」

新 スマート農林水産業実装支援

- ◆ 自動走行トラクタやアシストスーツの導入などスマート農林水産業の実装に向けた取組



新 若手農林漁業者支援

- ◆ 40歳未満の若手農林漁業者による取組



新 外国人人材活用支援

- ◆ 外国人人材受入れのための作業安全性を確保する施設や多言語翻訳機の導入 など

新 海外展開支援

- ◆ 「GAP」・「GI」など国際認証の活用、検疫対応など輸出型産地の形成
- ◆ インバウンド誘客促進のための農林漁家民宿の改修 など

政策推進型

農林水産基本計画の「推進エンジン」
となる取組を重点的に支援

- ハード補助率<上限> 3/10以内<10,000千円>
- 事業期間 単年度

経済グローバル化対策の重点展開

【基金73,000千円】

「海外市場開拓」など「攻め」の農林水産業を重点的に推進！

県内産業の競争力強化

- ◆ マーケットイン型産地の育成と、だいこんや梨、藍などの「園芸産地リノベーション」の推進
- ◆ 即戦力人材に加え、障がい者、アクティブシニア、外国人など「多様な人材」の育成・確保の促進 など



だいこん収穫機

輸出促進による海外展開の推進

- ◆ 更なる輸出拡大が見込まれるEU向けかんきつ類やハラール市場向け牛肉の「販路拡大」
- ◆ GAP実践から、「GLOBALG.A.P」等の上位GAP取得へのステップアップを支援 など



「木頭ゆず」のPR

インバウンド誘客の促進

- ◆ 外国人観光客等への接客スキル向上や体験メニューの充実による「受入体制の強化」
- ◆ 食文化や農村景観など地域資源を活用したツーリズムによる「農山漁村の魅力発信」 など

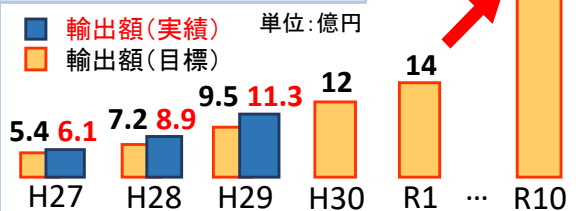


インバウンドリピーターの獲得

経済グローバル化に打ち勝つ「本県農林水産業の成長産業化」を実現！

新 「とくしま農林水産物等海外輸出戦略」 推進事業

本県輸出金額の推移



目標達成に向けた取組

1. 販売ルートを「より太い幹」へ！
2. 大胆な発想と知恵で「新たな市場」にチャレンジ！
3. 新たな「物流ルート」を構築！
4. 海外市場の開拓に取り組む「多様な主体」を育む！
5. 相手国の輸入規制をクリアする「輸出型園地」を育成！

刻々と変化する世界情勢への対応

- TPP11及び日EU・EPA等経済のグローバル化
- 拡大を続けるハラル市場
- 国際スポーツ大会等の機会を捉えた日本食文化の発信
- 拡大するインバウンド需要



重点市場における取引量の拡大

輸出に取り組む生産者のサポート

- 農畜水産物海外輸出ネットワーク構築事業（1,500千円）
生産者や事業者からの相談にワンストップで対応！
- とくしま輸出バリューチェーン構築強化事業（6,000千円）
きめ細やかな支援で生産者や事業者のニーズに対応！



海外マーケティングの実施

- とくしまブランド海外プロモーション事業（6,100千円）
東南アジア向け「なると金時」等の輸出拡大！
- とくしまの花満開！花き輸出拡大事業（3,335千円）
アメリカ(切花)、香港(シンビジウム鉢物)で市場開拓！



ミドル層・業務需要の獲得

- 成長するASIAを拓け！「輸出ハイウェイ」展開事業（13,000千円）
成長市場で富裕層に次ぐ購買層や業務需要を獲得！
- 「食」がおりなす6次化産品海外展開事業（2,380千円）
「とくしまブランド海外協力店」における県産食材の活用を提案！



新たな市場の開拓

<EU市場> 「とくしま三大香酸かんきつ」の 需要拡大

- GIを活用！EU「とくしま三大香酸かんきつ」需要拡大事業（20,000千円）
- (1) GI「木頭ゆず」「徳島すだち(申請予定)」と、「ゆこう」をリーディングブランドに育成！
- (2) インポーターとカスタマーを同時招へいた「産地ツアー&商談会」で売り込み！
- (3) EU向け小口輸送システム「YUSAN(ユサン)」の実証！



年間を通じた需要の獲得！

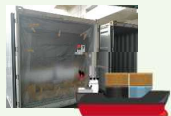
<ハラル市場等> ハラル商品の需要拡大・グローバル産地の育成

- グローバル化に即応！農林水産物等輸出拡大事業（21,400千円）(補正)
- (1) 2020年ドバイ万博を見据えた「徳島ハラル商品」の売り込み！
- (2) マレーシア等向けハラル牛肉の輸出拡大！
- (3) 需要に対応する「ハラル商品」へのブラッシュアップを支援！
- (4) ハラル市場にチャレンジする事業者の育成！
- (5) 意欲ある生産者等が実施するグローバル産地計画の策定、生産体制の構築等を支援！



物流上の技術的課題の解決

- 徳島県産海外コールドチェーン構築事業（2,850千円）
CAコンテナ等によるEU向け海上輸送・鮮度保持技術等の確立！



- 「稼ぎ頭」海外展開事業（2,200千円）
ターゲット市場での「コメ、酒類」の輸出拡大！

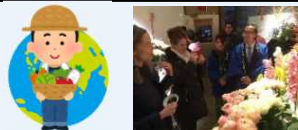


- 「欧米」攻略・輸出チャレンジ事業（1,555千円）
新規有望市場(イギリス・カナダ)でのマーケットリサーチとテスト輸出！



輸出に取り組む人材の育成

- 世界の荒波「武者修行」事業（3,300千円）
海外展開を目指す意欲ある事業者を発掘・支援！

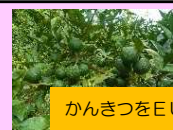


輸出型園地の育成

- 検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業（6,780千円）
「植物検疫」、「残留農薬基準」を突破！輸出型産地の拡大！



なると金時をアジアへ



かんきつをEUへ

戦略的な事業展開で県産農林水産物等の輸出をさらに促進！

担当：もうかるブランド推進課

新「阿波ふうどツーリズム」食の魅力発信事業

【令和元年度予算額 15,000千円】

「美食の街づくり」コンセプト

◆現状と課題

- ・世界に誇れる「ハイレベルな食材」の宝庫
- ・飲食店など潜在する食コンテンツは豊富
- ・食に関する「キラコンテンツ」は少ない
- ・食を目的に徳島を訪れる人はまだ多くない

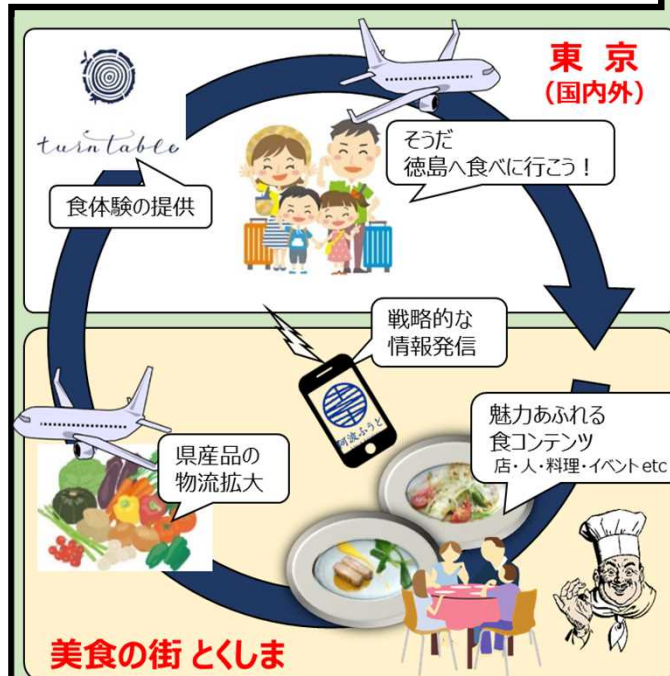
◆目指す姿

- ・徳島が「美食の街」として浸透し、「フードツーリズム」の着地点として定着
- ・「美食の街 徳島」から生み出される商品がブランドとして選択的に購入される
- ・食に関連するあらゆる県内の産業（農業・飲食業・加工業等）が活性化
- ・県民や関係者が、地元の食の魅力と価値を共有し、自ら国内外へ情報発信

「美食の街 とくしま」の実現

HOP (H30)

- ・ターンテーブルでの「食」テーマイベント
- ・渋谷エリアでの徳島一斉プロモーション
- ・県出身三つ星シェフ招聘「vs東京サミット」
- ・若手職員TFや県調理師会と意見交換



STEP (R元)

◆フードツーリズムの実現に向けたキックオフ

著名な料理人等を招き、若手シェフや生産者等を対象に「キックオフシンポジウム」を開催



◆戦略的な情報発信

プロモーションの専門家による戦略的な情報発信のコンセプトづくりと実践



◆「食べに行きたい」徳島の創出

県内飲食店で「旬」や「エシカル」、 「ホストタウン対象国の料理」等をテーマに「阿波ふうどメニューキャンペーン」を展開

◆発信ツールの活用

インバウンドを視野に入れ、多言語化に対応したポータルサイトやSNS、パンフなど発信媒体のブラッシュアップ



JUMP (R2-)

- ・飲食店ネットワークによる自発的取組みの拡大
- ・6次産業化や農家民泊など関連産業への波及
- ・若手料理人の意欲向上, スキルアップ
- ・東京オリパラを契機としたインバウンド取り込み
- ・海外メディアに向けたプロモーション強化

担当：もうかるブランド推進課



成功事例
サン・セバスチャン
世界一の美食の街として
観光客が押し寄せる

新世界に通用！「とくしま三ツ星ビーフ」確立事業

【令和元年度予算額 6,500千円】

事業目的

「経済のグローバル化」が加速する中、徹底した生産管理を行う「JGAP認証牧場」、「とくしま育ち」、「高品質な枝肉」を兼ね備えた牛肉を「とくしま三ツ星ビーフ」として認定し、「世界で通用する生産・流通体制」を確立する。

事業背景

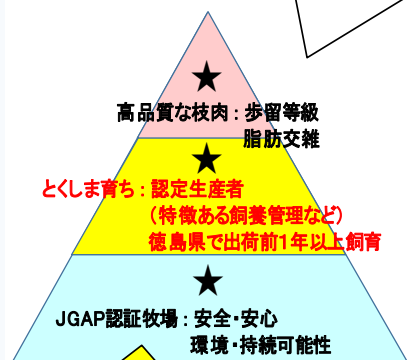
- ・「経済のグローバル化」が加速する中、全畜種の中で肉用牛への影響が最も大きい。
- ・「地域ブランド牛」の競争に打ち勝つべく、迅速なJGAP認証取得の進展とそのPRの必要性。
- ・とくしま畜産物の認証拡大&レベルアップ(輸出量倍増！)



事業の概要

「とくしま三ツ星ビーフ」の確立

世界で通用！「とくしま三ツ星ビーフ」確立



ブランド要件としては、日本初！！

JGAPの取得推進に向け・・・
家畜保健衛生所による迅速な指導



【黒毛和種部門】 既存ブランド牛の更なる進化

金星

JGAP Tokushima High-grade

例：とくしま三ツ星ビーフ「阿波牛」

【交雑種部門】 全国に先駆け、徳島ならではの 交雑牛ブランドの発信

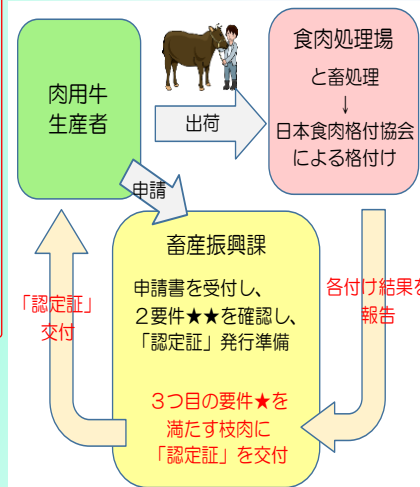
銀星

JGAP Tokushima High-grade

「安全・安心」「入手しやすい」
「程良い脂肪交雑で、ヘルシー」
など、消費者ニーズにマッチ

セリ市場や各種食肉イベントで
PR活動を実施。

オンライン上で迅速な認定証の交付



事業効果

海外市場を視野に入れた「もうかる畜産業」の確立

担当：畜産振興課

好機到来！県内企業の海外展開支援

◎中小企業海外展開トータルサポート事業【令和元年度予算額 12,500千円】
(うち当初予算計上 2,500千円)

ものづくり企業海外展開支援事業【令和元年度予算額 4,700千円】

背景

- ・TPP11及び日EU・EPAが発効し、巨大な自由貿易圏が誕生
- ・東アジア地域包括的連携協定（RCEP）交渉が進展
- ・地方へも広がる経済グローバル化の波

H30.12 TPP11発効
H31.2 日欧EPA発効

方向性

自由貿易圏拡大を好機と受け止め
県内企業の海外に向けたチャレンジを
しっかりと支援！

海外展開支援体制の整備【当初】

●海外展開支援プラットフォームの設置

海外展開のノウハウ・ネットワークを有する各機関の**若手担当者**で構成されるプラットフォームを設置し、企業の海外展開を**ワンストップで支援**

- ・ノウハウを共有し、各機関の強みを相互活用
- ・現地ニーズにあった「徳島ならではの」商品の発掘
- ・企業からの相談を**ネットワークで解決**

-57-



プラットフォームの
知見を活用

販路開拓・拡大機会の創出【当初及び6月補正】

◎香港・台湾への販路開拓（6月補正）

輸出の有望市場であり、本県へのインバウンドが1位、2位の香港・台湾において

- ・商談会開催によるマッチング
- ・現地大手百貨店における**物産・観光PR**
(香港そごう、台湾漢神百貨など)

◎四国4県連携による海外展開支援

4県のスケールメリットを活かし、活力あふれる東・東南アジアを中心に

- ・食品系フェアの開催（当初）
- ・機械金属見本市への出展（補正）



文化・観光・物産の一体的なPR

本県企業の技術力をPR

NEW

新市場への挑戦【6月補正】

◎EPA・FTA加盟国への販路開拓

ベトナム・マレーシアなど成長著しい市場をターゲットに

- ・**新市場への早期参入**を目指した商談会
- ・**海外市場動向・ニーズ**に関するセミナー
ものづくり企業など、新たな分野を対象に
- ・ミッション団の受入・派遣

◎インバウンド消費市場の獲得(再掲)

- ・ますます増加するインバウンド市場に焦点をあて、**ニーズに応じた商品開発・改良**
(パッケージデザイン、マーケティングなどの専門家派遣)
- ・**旅行会社と連携**し、開発・改良した商品を**外国人観光客へ販売・PR**



新市場参入に向けた商談会



輸出促進

企業の海外展開を加速し、地域経済の持続的発展を実現！

担当：国際課

新 藍増産事業

【令和元年度予算額 3,000千円】

徳島県民の「宝」である「阿波藍」を1000年先の未来へ繋ぐための藍の生産振興

2020年東京オリンピック・パラリンピックの公式エンブレムに「ジャパンプルー・藍色」が採用され、「阿波藍」に国内外から大きな注目が集まっている

問題点・課題

すくもの需要はあるが、
原材料のタデ藍は藍師のニーズが
満たされているとは言えない

・藍生産者、藍師が現在使用している
収穫機は、20年以上前の製造
現在は生産されておらず、
修理部品もない状況

・収穫した藍葉を乾燥させることは、
高齢化している生産者の負担
・乾燥葉の作成には、
広い土地と設備が必要

新規参入・藍増産の妨げ 生産維持の危機！！



・農業人口は減少している
・従来の藍生産農業者のみならず、
多様な人材の参画が必要

解決策

藍収穫機の復刻・機能向上

- ・藍師の意見を取り入れながら、プロトタイプを製作
- ・収穫期間中テストを繰り返し、
実際の現場で調整・機能向上

市町村と連携



・収穫機を生産者(藍師)へ導入を支援する新たな制度の創出 → 藍増産へ

共同乾燥施設整備の検討

- ・遊休施設の有効利用
- ・グループ利用による省力化
- ・新規参入の促進



農福連携とくしま藍モデル

・施設を利用している方々のきめ細かい作業による、高品質な「すくも」原料(乾燥葉)の提供

・平成30年度、
2施設において

藍を栽培



さらに拡大・推進

小学校で藍栽培

・「藍」を栽培、簡単な「藍染め」を体験、
「藍」を身近に感じ、
興味を持ってもらう



・本県の「藍」に対する
関心と理解を深め、
次世代の人材育成に繋げる



担当:もうかるブランド推進課

【新】もっと！とくしまエシカル農産物消費拡大・食育推進事業

「GAP農産物」、「有機農産物」、「エコ農産物」を「とくしまエシカル農産物」と位置付け
持続可能性の高い生産方法で栽培された農産物の消費拡大を推進!!

【令和元年度予算額 8,000千円】
(うち当初予算計上 4,700千円)

課題 「とくしまエシカル農産物」の認知度・理解度向上



もっと使おう！とくしまエシカル農産物で食育推進(補正)

食に関する正しい知識を実践により身につけることにより、
エシカル農産物の認知度向上を図る。

①エシカル農産物と出前授業で子ども食堂等支援

・エシカル農産物の供給により、調理実習や実食、
出前授業を行い、食育からエシカル農産物を学ぶ。



- ・子ども食堂
- ・放課後子ども教室
- ・ユニバーサルカフェ等

関係部局と連携した
出前授業等の実施



エシカル農産物

②フェアトレード品とのコラボによる新たな加工品開発

・専門高校等と連携し、
エシカル農産物とフェアトレード品を使った
商品力の高い加工品を開発。



③教えて実践！生産現場等の食育活動支援

・生産者団体やNPO法人等、事業者自らが取り組む食育活動を支援し、
エシカル農産物のPRを推進。



○食育活動の連携強化による認知度向上

もっと知ろう！とくしまエシカル農産物の発信強化

大型イベントやコンクールを実施し、
エシカル農産物の理解増進を図る。



①オーガニック・エコ×食育フェスタの開催

・有機×食育の2大フェスタを同時開催し、
情報発信力を強化

②エシカル農産物をテーマとしたコンクールの開催

・絵画コンクール、レシピコンクールを開催し、
エシカル農産物の理解増進と消費拡大を推進



○エシカル関連イベントとの連携

消費者団体や関係部局が実施する、G20消費者政策国際会合など
のエシカル関連イベントと連携したPR活動を実施

○情報発信力強化による理解度の深化

○とくしまエシカル農産物の「消費拡大」

○安全安心でエシカルな食文化の

「醸成」と「継承」

担当：もうかるブランド推進課

次なる県民総ぐるみの木づかい運動の展開

【令和元年度予算額 13,200千円】
（うち当初予算計上 3,700千円）

「とくしま木づかい県民会議」を核とした県民総ぐるみの取組み

人づくり

- ・木造建築学校の開校(e-ラーニング開催)
- ・全国木育サミットの開催(H31年2月開催)
- ・すぎの子木育広場整備(20カ所)



情報発信

- ・とくしま木づかいフェアの開催(H30 7,350人来場)
- ・木づかい講演会の開催(2回/年)
- ・木づかいアワード顕彰制度



会員数:106団体→121団体

ものづくり

- ・企業間連携による商品開発(木系他)
- ・海外における県産材ショールームの整備
- ・オフィスインテリア等木質化



これまでの取組み

課題

木づかい人材の養成

情報発信と販売の強化

産学官によるものづくり

「木が好きの人を育てる」機会を創出

木育広場の活用 木育インストラクター



新

「県版木育サミット」の開催(補正)



木育サミットのレガシーを未来へ

若手建築士等を対象とした実践研修(補正)

空き家や古民家の改修



県産材を駆使する建築士等の養成

とくしま木づかい県民会議の拡充(補正)

木づかいフェア エクステリアPT設立



木材需要拡大のための情報発信

新

県内製材業者とバイヤーとの商談会開催(補正)

事業体出展状況 セミナー実施



更なる県内製品の需要拡大

新

樹皮を燃料に活用するための実証試験(補正)

樹皮



ペレット



未利用資源有効活用

新

低コスト乾燥システムの普及(補正)

木材乾燥機



乾燥木材



県産材乾燥製品のブランド化

利用促進, 木育をはじめ官民一体となった協力体制による「徳島ならではの」県産材需要拡大

担当: 林業戦略課

新たな展開

◎ 海部の“地から”魅力ある農業展開支援事業 ～「きゅうりタウン構想」から広がる海部農業セカンドステージの展開～

【令和元年度予算額 2,400千円】
（うち当初予算計上 1,700千円）

これまでの取組成果（H27～H30年度）

- ◆ JA・町・県による推進体制「海部次世代園芸産地創生推進協議会」構築
- ◆ 特産品キュウリを核とした地域活性化策「きゅうりタウン構想」を推進



24名の塾生受入れ



養液栽培の技術開発



SNSによる情報発信

ファーストステージの成果



塾修了生16名が
営農を開始



全国初！1ha規模養液栽培
キュウリ団地が完成

見えてきた課題

地域全体の活性化
（他品目への横展開）

新規就農者の定着
（栽培・経営のサポート）

令和元年度取組内容

1 キュウリに続く新たな海部活性化戦略の展開

○ オクラ・ナノハナプロジェクトの推進

- ・「オクラ・ナノハナ塾」の展開
⇒ 農業が初めての方でも学べる座学を中心としたカリキュラム
- ・新規就農者を対象とした「トレーニングファーム（実践ほ場）」の設置
⇒ ベテラン農家の隣接ほ場を確保した効率的な新規就農者育成



- ・ 農業基礎知識の習得
- ・ 栽培体系を学ぶ



- ・ レンタル資材による初期費用の軽減
- ・ 記帳に基づく管理の徹底及び技術指導



もうかる
農業の実現！

- ・ 自己資金での資材導入
- ・ 自立経営化

○ ブロッコリー・ニンジン等の土地利用型農業の担い手 対象とした「海部農業リーディング塾」の開講

- ・ 法人化に向けた講習会の開催

○ 海部地域における農業版働き方改革の推進

- ・ 女性目線での働き方の提案



快適な作業環境



省力化技術

セカンドステージ 展開

2 「きゅうりタウン構想」のさらなる進化

○ IoT技術導入による先進農業モデルの構築

- ・ IoT技術に対応した技術確立と新規生産者ネットワークの実装

○ 新規就農者の定着にむけたさらなるサポート体制の強化

- ・ 「きゅうりヘルパー育成」のための「海部きゅうり塾」の体制強化
- ・ 「海部きゅうり塾」修了生に対するリカレント教育の実施（6月補正）



栽培管理！
収穫！
出荷！



きゅうりヘルパー

繁忙期の労力補完体制の確立

国補事業を
活用！



一人前の農家へ
労務管理etc
税務処理
ほ場管理
塾カリキュラム

リカレント教育による経営力の向上

○ 「構想」を実現するための新たな情報発信

- ・ 新技術情報収集・情報発信
⇒ 全国野菜技術研究会への新規就農者の派遣
- ・ 新拠点「Turn Table」を活用した「構想」のPR



海部総活躍による地域活性化

新「世界農業遺産」による「もうかるにし阿波」の実現

「世界農業遺産」未来継承事業【令和元年度予算額9,000千円】
(うち当初予算計上6,000千円)

事業の目的 「世界農業遺産」認定を契機に、持続力のある地域経済を実現するため、「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」と連携し、
戦略的な情報発信、もうかる「にし阿波」の確立及び次世代・農村維持保全をすすめる。

事業の概要【平成30年度事業】

戦略的な情報発信

- ・プレスツァーの実施
- ・大企業との交流
- ・ターンテーブルでの首都圏インフルエンサーとの交流
- ・1周年記念シンポジウムの開催



- ・古くて新しい！
- ・今だからこそかっこいい！
- ・若手人材の確保が必要！
- ・固有の価値を伝えるため丁寧な説明が必要

受入れ体制の整備

- ・ワンストップ窓口の設置
- ・傾斜地体験スポットの整備

視察者急増
H29年度 103人
H30年度 357人



もうかる「にし阿波」の実感

- ・ロゴマークの作成
- ・世界農業遺産ブランド認証制度の発足
- ・魅力あるパッケージの開発



事業の概要【令和元年度予算】

Jump!

戦略的な情報発信

◆価値を伝える

- ・認定11地域と共同事業
- ・地域団体と連携しイベントを開催
- ・HP・ブログ等での海外への動画配信

◆戦略的なプロモーション

- ・ターンテーブルを活用し、感度の高い消費者やバイヤー向けフェアの開催

◆世界に広がる人材交流

- ・交流活動や研修生等の受け入れを実施
- ・ボランティア等関係人口の確保



もうかる「にし阿波」

◆売れる商品づくり

- ・世界農業遺産ブランド認証商品の充実
- ・飲食店と連携した食事メニュー開発や販売
- ・道の駅や産直市合同フェア等において野菜ソムリエによるレシピ提案や新パッケージ商品の販売

◆農泊の推進

- ・傾斜地農業を伝えるガイドの育成
- ・ワンストップ窓口の機能強化
- ・にし阿波の伝統的な食文化を伝える食事・体験メニューの提供
- ・農泊施設で戦略品目の増産

次世代・農村維持保全

◆就農者等確保育成(6月補正)

- ・関係機関と連携し、新規就農者や定年帰農者、Uターン者による担い手を育成



◆次世代へつなぐ伝統

- ・小中高校生を対象に体系的なエシカル教育の実施



◆農業を支える仕組み

(6月補正)

- ・山間地域の集落と平坦地域の直売所が連携した集荷システムの実証



徳島の宝(傾斜地農業)を未来へつなぐ

担 当: 農林水産部、観光振興部、地域創生部

徳島おいでなしてプロジェクト

○宿泊施設リノベーション支援事業【令和元年度予算額 80,000千円】
○ナイトタイムエコノミー活性化事業【令和元年度予算額 7,500千円】

○とくしま周遊観光促進事業【令和元年度予算額 11,000千円】
(うち当初予算計上 6,000千円)

目的

- ◇観光客の受入基盤の強化を図り、さらなる誘客促進、宿泊者数の増加を図る。
- ◇ナイトタイムエコノミーの推進を図り、「宿泊者数」・「観光消費額」を増加させる。

新 宿泊施設リノベーション支援事業

■項目

- ・客室(客室数の増加、客室風呂の整備、コンセプト泊推進)
- ・入浴施設(露天風呂、大浴場の整備、温泉の引き込み)
- ・食空間(囲炉裏の設置、古民家風に整備)

■補助率

客室数が2室以上増又は福祉避難所指定

- ・2項目以上 1/2(補助上限2千万円)
- ・1項目 1/3(補助上限1千万円)

その他

- ・2項目以上 1/4(補助上限1千万円)
- ・1項目 1/6(補助上限5百万円)



宿泊者数の増加に大きく寄与する客室数増加
不足している福祉避難所の確保を重視

新 ナイトタイムエコノミー活性化事業

企画提案型

ナイトタイムエコノミー推進による徳島活性化!

■補助対象<補助率>

民間事業者等が企画する新たなナイトイベントで、県外からの集客が見込まれ、「宿泊者数」・「夜間の観光消費額」の増加につながるイベント
<補助率:補助対象経費の1/3以内(上限2,500千円)>
選定事業数:3件程度

■選定基準

- 「地域への経済波及効果の高いイベントであること」
- 「徳島ならではの観光資源を活かすイベントであること」



「ナイトタイムエコノミー」の活性化に直結する事業を支援!

とくしま周遊観光促進事業

新

■IoTを活用したクラウド型タクシーコールセンターの導入

おもてなしタクシーの配車窓口を一本化することにより、正確かつ迅速な配車を実現

■おもてなしタクシーの充実

おもてなしタクシーを活用した旅行商品を造成、周知広報 等

■「レンタカーキャンペーン」の充実

レンタカー助成、外国人旅行者向け高速道路利用料の割引



二次交通の代表格「タクシー」「レンタカー」を利用した
県内周遊観光の促進

宿泊者数の増

観光関連産業の活性化!

担当:観光政策課

「徳島の宝」阿波おどりを「世界の宝」に！！

○世界最高の情熱！阿波おどり体感事業【令和元年度予算額 46,500千円】
(うち当初予算計上 38,000千円)

○世界へ躍進！阿波おどりプロデュース事業【令和元年度予算額 15,000千円】
(うち当初予算計上 12,200千円)

阿波おどりの通年化

春の阿波おどり



はな・はる・フェスタ

- ・「春らんまん」さわやかな演舞
- ・徳島グルメが集結「グルメ横丁」

夏の阿波おどり



- ・県外客へのおもてなし
- ・無料演舞場・にわか連等運営補助
- ・交通円滑化対策

冬の阿波おどり

- ・阿波おどりをはじめとした「あわ文化」を活用した冬期旅行商品造成を促進
- ・プチアソビとの連携(ちびっ子連の演舞)



秋の阿波おどり

令和元年 11月1～4日予定

第5回記念大会

4日間に拡大！

・「秋の観光キャンペーン」メインイベント

- ・11/1は「阿波おどり会館」を会場にナイトイベントとして開催
- ・有名連による阿波おどり大絵巻
- ・高校生阿波おどり

同日開催

阿波おどりの国際化

選抜連による海外公演

効果的な観光プロモーションと合わせた阿波おどりの魅力発信

- ・香港「2019日本香港観光年」をターゲット
- ・台湾 現地大手百貨店との連携



新 阿波おどり指導者の海外派遣

- ・阿波おどりの魅力発信
- ・歴史・文化のセミナー開催
- ・踊り・鳴り物の実技指導

香港・台湾



新 世界阿波おどりサミット

- ・世界の阿波おどり連が結集
- ・これまでの海外公演・交流の成果を集約し発信
- ・県内在住の外国人も参加し、演舞を披露



阿波踊りサミット2007

阿波おどりを活用した誘客促進
リピーターの獲得

東京オリ・パラにおける
阿波おどり披露の実現

世界的なファン増加
海外から誘客促進

阿波おどり文化を
次世代に継承

担当：観光政策課、観光政策課海外誘客室

マチ★アソビ 10周年! アニメを活用したにぎわい創出

○新「アニメの聖地とくしま」魅力パワーアップ事業 【令和元年度予算額 68,000千円】
(うち当初予算計上 22,300千円)

現 状

- 「マチ★アソビ」は県内を代表するイベントに成長・定着
- 累計来場者は120万人を突破!
- 2019年・秋は記念すべき10周年

課 題

- アニメイベントの地域間競争の激化
- イベントのマンネリ化への懸念
- イベント期間以外への効果波及

方 針

- イベント内容の進化, 聖地化の促進
- 来場者の満足度向上による「マチ★アソビ リピーター」の獲得
- 前夜祭開催による滞在日数の増加

事業概要

10周年で新展開! 秋のマチ★アソビ vol.23

新 展 開

- ★藍場浜公園において、マチ★アソビ参加ゲスト、アーティスト等による前夜祭「マチ★アソビフェス」を実施
 - 徳島版ナイトタイムエコノミーの実現!
 - +1泊で期間外への効果波及
- ★徳島中央公園, 市立徳島城博物館, 藍場浜公園を新たに会場に追加
徳島市・四国大学・経済界と連携し, 新たな展開を図る
 - 徳島城博物館
 - 〈刀剣女子の聖地! 徳島城博物館〉
 - 利便性・周遊性の向上
 - 新たな聖地の誕生

10周年記念

- ★「newtypeアニメアワード」×マチ★アソビ10th anniversary
アワード受賞者や有名ゲストの特別招聘でアニバーサリーを盛り上げ
 - ワクワク感・満足度の向上

冬のにぎわい創出! ぷち★アソビvol.8

- ★子どもやファミリー層への内容充実, 商店街との連携



春のマチ★アソビ vol.22 (当初)

- ・5/4~6に実施「マチ」×「アニメ」のコラボレーション
- ・中心市街地の商店街や公園を使ったイベントの実施
- ・eスポーツ等新たなコンテンツとの融合
- ・約78,000人が来場



初の10連休中の県内人出NO.1!

交流人口増加

訪日外国人誘客

アニメ活用
施策の推進

イメージ
アップ

満足度の
向上

アニメの聖地として本県のさらなる魅力向上

担 当：にぎわいづくり課

新 新たな「海上交通」導入事業

【令和元年度予算額 5,000千円】

本県を取り巻く環境の変化

- 3大国際スポーツ大会 3年連続開催
 - '19 ラグビーW杯
 - '20 東京オリンピック・パラリンピック
 - '21 ワールドマスターズゲームズ関西
- 2025大阪・関西万博 185日間に渡り開催

関西国際空港を中心に、大幅なインバウンドの増加が見込まれる

万博で期待される効果

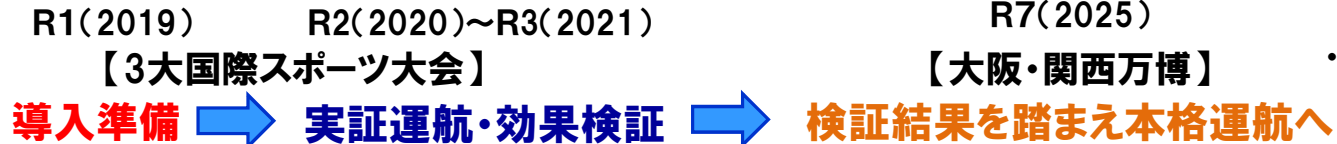
- ・ 2800万人来場
- ・ 経済効果2兆円

取り組むべき方向性

- 「関西国際空港」や「夢洲」への来訪者を如何に直接本県に取り込むか
- 様々なニーズに応じた多様な交通手段の確保

交流人口の拡大に向け新たな「海上交通」導入へ

スケジュール



事業内容

○「海上交通」実証運航の準備

運施需

航設要

にすること



本格運航に向けてスタートダッシュ!

「訪日外国人6000万人時代」に向けて



関西広域連合・日本国際博覧会協会へ提案

大阪湾へエリア・5空港7滑走路 有機的連携!

「3大国際スポーツ大会」から「大阪・関西万博へ」! 夢と希望の新交通ネットワークの構築

担当: 運輸政策課

新 世界に通用する観光地域「桃源郷にし阿波」の実現

インバウンドで飛躍「桃源郷にし阿波」魅力強化事業【令和元年度予算額 39,000千円】
(うち当初予算計上 24,830千円)

事業目的

- 観光を通じ、外国人と地域が活発に交流
- 宿泊者数、旅行消費額の増加

〈2008～〉

観光圏

〈2016〉

食と農の景勝地

〈2017〉

ラフティング世界選手権

〈2018〉

・トラベル+レジャー誌に

日本で唯一掲載

・世界農業遺産

・ウェイクボード

世界選手権大会

〈2019〉

ラグビーワールドカップ

〈2020〉

東京オリ・パラ

〈2021〉

ワールドマスターズゲームズ

〈2025〉

大阪万博

にし阿波が世界から
選ばれる訪問先に

世界水準DMOに向けた体制強化

「日本版DMO」から「世界水準DMO・その郷」を目指し
さらなるマーケティング・ブランディング力を強化

- ・インバウンド向け魅力発信、誘客促進につなげる「専門人材」「外国人材」の活用
- ・観光地域づくりを担う「地域人材」の発掘、育成



戦略的な海外展開

インバウンドプロモーションの実施(一部6月補正)

- ・競争が激化する「香港、台湾」からのリピーター獲得
- ・新たなターゲット「欧米豪」、「シンガポール、マレーシア、タイ」へのプロモーション強化

海外テレビ番組誘致(6月補正)

- ・「にし阿波」の魅力をダイレクトに発信

海外営業力の強化(6月補正)

- ・海外エージェントからリアルタイムで情報を収集し、他に先んじたインバウンド対策を実施



訪日教育旅行の推進(6月補正)

- ・国内外旅行会社への営業を強化、新たな市場の開拓による受入拡大

来訪者の満足度向上

SNS発信キャンペーン(6月補正)

- ・タビナカに「にし阿波」の魅力をSNSで発信、口コミ情報を拡散

デジタルマーケティング(6月補正)

- ・「にし阿波」のかくれたニーズを把握し改善・魅力アップ
- ・潜在的な関心層へのダイレクトな情報発信



国内観光プロモーション(6月補正)

- ・観光キャンペーンや商談会に参加、誘客を促進

外国人旅行者に安全・安心・快適な環境づくり(6月補正)

- ・多言語対応標識の整備

DMOを核とした観光地域づくりで「にし阿波」を創生！

担当：観光振興部、県土整備部

目的

徳島の強みを活かし、さらなる地域産業の活性化と労働環境の改善を進め、誰もが働きやすい安定的な雇用機会を創出する

地域活性化雇用創造プロジェクトの活用

関連施策と連携し
8事業を展開

主な事業内容

事業推進・基盤整備

- プロジェクト管理運営事業
地域のネットワークの強化と効果的な事業実施のための体制整備



求職者向け就職支援

- スキルアップ雇用創出事業
キャリアコンサルティングの実施による新たな就業や定着を支援



産・官・学・金・労
連携・協力

事業主向け雇用創造

- ふるさと雇用促進事業
UIJターン人材の確保と定着の促進
- 未来に向けて輝け！ジャパンプルー魅力アップ雇用促進事業
阿波藍のブランディング化のための専門人材の確保
- ものづくり産業成長加速化雇用創出事業
「ものづくりクラスター」の進化と製品の「高付加価値化」を促進



- 次世代ヘルスケア産業分野雇用創出事業
糖尿病対策の研究成果を活用した新たな事業を展開
- インバウンド消費獲得による雇用創出事業
海外ニーズを捉えた商品・サービスの開発・改良の促進
- IT企業活用人材育成強化事業
IT企業の集積化によるIT人材の確保と事業の拡大



生産性の向上と企業の持続可能な発展と成長



地域産業活性化による雇用の創出を実現！

進化する小規模企業支援施策の展開

徳島県地域産業活性化事業【令和元年度予算額 1,028,390千円】
(うち当初予算計上 789,365千円)

① 生産性革命対応・小規模事業者育成事業【令和元年度予算額 7,000千円】

背景

小規模企業の現状

県内企業数の 88.0%	県内従事者数の 39.2%
------------------------	-------------------------

(H28経済センサス)

小規模企業は
本県経済を支える重要な存在

小規模企業を取り巻く経営環境の変化

- ・売上・経常利益の伸び悩み、低い労働生産性
- ・深刻な人手不足・後継者難
- ・第4次産業革命の進展 (IoT・AI・ビッグデータ・ロボット等)
- ・相次ぐ大規模災害への対応 (地震・台風・豪雨等)
- ・消費者ニーズと企業の社会的役割の変化 (SDGs等)

消費税率
引上げ
軽減税率
導入
R元.10(予定)

小規模企業振興を強化

- | | | |
|---|-----------------|---|
| ① | H26.6
R元(予定) | 小規模企業振興基本法 制定
小規模企業振興基本計画 改定
小規模事業者支援法 改正 |
| ② | H28.3
H28.10 | とくしま小規模企業振興憲章 策定
徳島県中小企業振興条例 改正 |

本県独自の小規模企業支援施策をさらに強化

徳島県地域産業活性化事業【当初及び6月補正】

商工団体向け
補助金

1 ベーシック補助金【当初及び6月補正】

県・国施策の活用支援実績等を補助金額に反映

主な実績判定項目

事業者の成長・経済変化への対応促進

- ・県経営革新支援制度、県創業支援制度の活用実績
- ・持続化補助金、ものづくり補助金(国)の活用実績
- ・**① 生産性向上に向けた取組み実績 (IoT・AI等の導入支援)**

働き方改革の推進・労働力の確保

- ・働き方改革推進支援センターを活用した支援実績
- ・県はぐくみ支援企業認証制度の活用実績

地域・企業防災力の強化

- ・県企業BCP認定制度の活用実績

2 オンリーワン補助金【6月補正】

県施策との連携、国資金の活用等に取り組む
事業の補助率・事務費を優遇

① 「地域活力創造連携事業」を新設！ 団体・地域の垣根を超えた複数団体の連携を加速

連携テーマ
(活動例)

事業承継

- ・企業の譲り手と受け手をつなぐ
マッチング事業

第4次産業革命

- ・企業のIoT・AI等導入に対する
商工団体の
支援力強化事業

事前復興

- ・企業や地域に
おける意識醸成や
防災・減災対策に
向けた取組み

消費者行政

- ・消費者志向経営
や**エシカル消費**
を推進する取組み

消費税増税対策

- ・増税による腰折れ
を防ぐための
地域の**消費**を
喚起する取組み

商工団体の強化・地域経済全体の底上げ

① 生産性革命対応・小規模事業者育成事業【6月補正】

小規模事業者向け
補助金

IoT・AI等を活用し労働生産性の向上を図る
小規模事業者の先駆的な取組みを支援

<補助率>

1/2

<補助上限額>

1,000千円

(共同申請は2,000千円)



頑張る小規模事業者の
育成を通じた
モデルを構築

取組み例

- ・IoTを利用し匠の金属加工技術を自動化した生産設備の導入
- ・ビッグデータを活用した需要予測に基づく食材調達システムの開発
- ・AIを用いたタクシー配車ネットワークの構築

地域の
小規模事業者に
成果を波及

小規模事業者のモデルの構築

小規模企業の持続的発展と本県経済の活性化を実現！

徳島県中小企業・勤労者向け融資制度

○中小企業振興資金貸付金【令和元年度予算額 22,931,000千円】
（うち当初予算計上額 17,831,000千円）
○勤労者支援資金貸付金【令和元年度予算額 2,064,000千円】
（うち当初予算計上額 2,063,000千円）

目的
・ 県内中小企業者の事業活動に必要な資金の確保の円滑化を図り、振興発展を支援する
・ 県内の勤労者に対し、豊かでゆとりある生活の実現を図るため、生活の節目に必要な資金を支援する

ライフステージに応じたきめ細やかな金融支援を行うため、制度の改正・拡充を実施

「第4次産業革命の実装」による経営力強化

新「生産性革命応援資金」の創設

- 生産性の向上
- 人手不足の解消・緩和
- シニアや女性、障がい者等の **多様な人材の参画** につながる設備導入を支援



融資限度額：2億円
 融資期間：設備20年以内
 融資利率：10年以内 1.70%～1.80%以内
 20年以内 金融機関所定
 保証料率：0.30%～1.15%

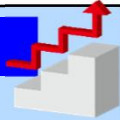
設備投資に
取り組む事業者へ！

生産性革命に
取り組む事業者へ！

「頑張る」企業の成長力強化

新 企業向け「新事業展開・リカレント支援資金」の創設

- 事業転換や新たな事業活動などの「**攻めの経営転換**」にチャレンジする企業
- リカレント教育に取り組む企業 を支援



プロフェッショナル人材等を
活用する事業者へ！

リカレント教育を
実施する事業者へ！

新たなステージへ
踏み出す事業者へ！

融資限度額：8,000万円
 融資期間：運転7年、設備10年
 融資利率：2.00%以内
 保証料率：0.45%～1.05%

円滑な「事業承継」の推進

「事業引継ぎ支援資金」の融資期間延長

- 事業承継時の資金需要に応えるため、**融資期間を延長**



運転7年以内、設備10年以内
 → 運転10年以内、設備10年以内

次世代への引継ぎに
取り組む事業者へ！

「地域貢献」の取組を推進

「地域連携企業支援資金」の拡充

- とくしまエシカルアワード受賞者
- 徳島県企業BCP認定者を対象に追加



安全・安心の取組みを
行う事業者へ！

企業向け・勤労者向け
双方のリカレント教育を支援

とくしま経営塾
「平成長久館」等
「人財」の育成を推進

誰もが個性を発揮し、自己実現できる社会の創造

新 勤労者向け「リカレント応援資金」の創設

- 勤労者の **リカレント・自己啓発** 等を支援



融資限度額：100万円
 融資期間：10年以内
 融資利率：1.35%
 保証料率：0.70%～1.20%

キャリアアップを目指す
勤労者の方へ！

進化する「力強い徳島経済」の実現！

マイナンバーカード利活用の積極的推進

【令和元年度予算額 9,100千円】
（うち当初予算計上 6,100千円）

<2020年度>

「マイナンバーカード利活用場面」が拡大！

- ◆「自治体プレミアムポイント ※消費増税対策」が実施
- ◆マイナンバーカードが「健康保険証」と一体化

<さらに将来>

- ・安全安心な「デジタル社会」構築
 - ・「キャッシュレス化」推進
- のための「社会インフラ」に定着！



「マイナンバーカード利活用促進」及び「サービス創出」

<マイナンバーカード利活用モデル創出事業 6,100千円>

「マイキープラットフォーム」及び「自治体ポイント」利用環境整備

<新消費を強力喚起！マイナンバーカード活用「自治体ポイント」
利用促進事業 3,000千円>

I. カード利活用促進に向けた戦略的PRの展開

- ◇「ケーブルテレビ」により、広く県民にメリットを周知
- ◇市町村や関係機関と連携し、キャンペーンを展開

I. マイキーID登録講座の開講

- ◇県立総合大学校「まなびーあ徳島」に講座開講
- ◇「ケーブルテレビ」や「インターネット放送局」等のメディアを活用し、県民にわかりやすく周知



II. 市町村共同利用「電子母子手帳」モデルの創出

- ◇スマートフォンが「電子母子手帳」に！
《※マイナンバーカードで「本人確認登録」》

市町村共同利用で、
・「運用コスト削減」
・「転出入でも継続利用可能」

【主な機能】

- ◆「健診結果や予防接種済み」の記録確認
⇒市町村データと連携！
- ◆様々な「予防接種」のお知らせ
⇒接種忘れ防止！
- ◆「お役立ち情報」の配信
⇒タイムリーな情報入手！
- ◆写真など「子ども成長記録」も

家族間でも共有！



II. マイキーID登録サポーター（講座運営補助）の養成

- ◇ボランティアスタッフを養成し、講座運営をサポート
- ◇サポーターに「ボランティアポイント」を付与

「シルバー大学校
大学院OB会」と連携

III. 県ポイント利用先の拡充

- ◇ネット通販、物産販売店等に加え、新たな利用先（プロスポーツのグッズ購入や県有施設の利用料等）を拡充

マイナンバーカード利活用による「利便性向上」と「地域経済活性化」！

戦略的企業誘致による「しごと」と「人材」の創出

○戦略的企業誘致強化事業【令和元年度予算額 24,900千円】
(うち当初予算計上 10,100千円)

新 IT人材確保支援事業【令和元年度予算額 3,000千円】

目的

本県の魅力や強みを活かした戦略的な企業誘致による「しごと」の創出や、国内外の高度IT人材と県内企業のマッチングを通じた「とくしま回帰」促進による「人材」の創出を図り、地域経済の活性化を推進

事業概要

戦略的企業誘致の推進

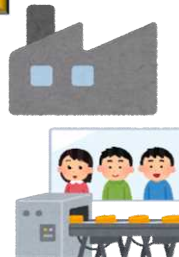
オーダーメイド型補助制度のさらなる充実

新メニューの創設

「地域資源活用・誘客立地促進事業(仮称)」

「見学・体験施設」や「食のテーマパーク」など、誘客促進や地域資源の全国発信にもつながる立地や投資を支援

・補助要件 投資額2,000万円以上かつ新規地元雇用3名以上



新たな支援メニュー創設により、「産業集積」と「誘客促進」をあわせて促進！

攻めの企業誘致活動の展開

補正 東京、大阪での「徳島ビジネスフォーラム」の開催

- 本県の魅力や強みを大都市圏において発信
- 県内市町村の立地環境や立地企業とその製品などのPR・展示ブースを設置
- 本県の誇る藍製品や木頭ゆず等の特産品もPR



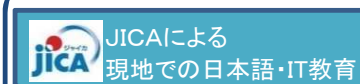
企業の「とくしま回帰」を強力に推進！

企業と人材の好循環

国内外から高度IT人材を呼び込み

補正 新 JICA人材育成プログラムを受講したバングラデシュIT人材の県内受入れ促進

バングラデシュ

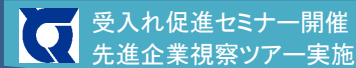


海外IT人材

- ・JICAと県の連携による現地マッチング面接会開催
- ・海外人材受入れ事務手続支援

受入れ

徳島



県内企業

補正 IT関連イベント等への出展

IT関連イベント「TECH EXPO」
IT移住イベント「OFF TOKYO」など



当初 IT人材と企業とのマッチング促進

転職支援サイト「Turn Up 徳島」による企業・求人情報の発信や就職サポート



企業立地の促進、雇用創出、移住者の増による地域経済の活性化

とくしま回帰「地方創生」の実現！

新設 トータルサポート！移住・就労・起業・事業承継支援パッケージ

〔新〕ふるさと起業家支援プロジェクト【令和元年度予算額 16,000千円】〔新〕事業承継マッチング機能パワーアップ事業【令和元年度予算額 7,500千円】

事業概要

県内企業の担い手不足解消や優れた技術・ノウハウの伝承、新ビジネスの創出を図るため、本県への「移住・就労・起業・事業承継」を一体的に支援する。

とくしま移住×創業ネットワーク



- 移住希望者への情報提供
- 集中的な起業・経営支援

住んでみんぞ 徳島で!

〔HPを通じた会員登録〕
現在約800名



「徳島で住み隊会員」のニーズに応じた、段階的支援！

情報発信 → 魅力実感 → 移住相談 → 移住実現

徳島県事業承継ネットワーク



- 商工団体、士業団体等全53機関
- 全市町村も加入
- 承継専門家配置

働く・住む・学ぶなど
各種お悩みを
一気に解決！

徳島わくわく移住・創業 パッケージ支援事業【当初】

当初：37,500千円

移住×就労 最大100万円

- 東京圏から移住を促進
- 地域の担い手確保
- 課題解決を促進



とくしまで、イキイキ働く！
「ジョブナビとくしま」

移住×創業 最大300万円

創業促進による経済の好循環！

〔新〕ふるさと起業家支援 プロジェクト



補正：16,000千円

先駆的・魅力的な事業を実施する
起業家を公募（事業開始から5年以内）

ふるさと納税サイト

ふるさとチョイス
あなたの意思をふるさとに

クラウドファンディング
による寄附募集



少しでも多くの「しずく」を預めたい
癒しのアロマ
開発プロジェクト



自然エネルギーハウス
「アースシップ」を皆の力で建設！



空海藍が生み出す
癒しのブルーサロンをつくる！
Ocean View Indigo Salon

寄附額 + 県費（寄附額同額以内）

起業に必要な施設・機器整備
2/3を補助

〔新〕事業承継マッチング機能 パワーアップ事業

補正：7,500千円

■ 専門家間の「顔の見える」支援体制の構築

- 移住コンシェルジュ、創業コーディネーター、事業承継コーディネーターとの連携強化

- ・ 情報共有の促進
- ・ 新たな承継者の掘り起こし



■ 事業承継マッチングの加速

- 公開マッチングの実施（承継案件をプレゼン）
※ 首都圏や関西圏「移住セミナー」との連携

■ 企業と大学生とのマッチング機会の創出

- 学生バスツアーの実施
- ふるさと回帰ツアー等との連携

- ・ 県内就職、転職、起業意識の醸成

「技術、経営ノウハウ伝承！」

県内の「移住・就労・起業・事業承継」の加速！

担当：商工政策課、企業支援課

とくしま経営塾「平成長久館」事業

【令和元年度予算額14,400千円】
【うち当初予算計上 8,000千円】

実施方針

- ◆企業が取り組むべき「5つの重点課題」に対応した研修プログラムの実施により、新たな時代をリードする「企業経営者」や企業の核となる「人財」の育成を強力に推進
- ◆SNSによるPRやQRコードによる動画配信などにより、「平成長久館」の情報発信力を強化



重点課題項目

①働き方改革・人手不足対策

ワーク・ライフ・バランスの確立や、人手不足の解消を推進

- 追加 RPA活用講座
- 新 働き方改革関連法対策セミナー
- 新 入管法改正関連セミナー
- 健康経営セミナー など

②消費者志向経営

消費者志向経営やエシカル消費を推進

- 追加 GAPによるエシカル農産物セミナー
- 追加 HACCP対応セミナー
- 新 消費税軽減税率を知る講座
- 経営改革セミナー など

③事業承継

事業承継を促進し、企業財産の円滑な継承を推進

- 追加 事業承継マッチング支援セミナー
- プロフェッショナル人材活用セミナー
- 知的財産理解増進セミナー
- 地域産業人材育成講座 など

④第4次産業革命

AI、IoTなどの最新技術を活用し、企業の生産性向上を推進

- 追加 i-Construction推進セミナー
- 追加 データサイエンティスト養成講座
- 新 キャッシュレス化推進セミナー
- ドローン活用セミナー など

⑤徳島の強み

徳島の「強み」を活用した取組みを推進

- 追加 eスポーツビジネスセミナー
- 追加 水素ビジネスセミナー
- テレワークセミナー
- 女性起業塾 など

◎全70講座を展開！
◎目的に応じた「セット受講」も推奨

(例) 営業力やスキルを身につけて、売上げを拡大したい！

- 女性リーダー養成講座
- + プレゼンテーション能力向上研修
- + タイムマネジメント研修

平成長久館
優良団体表彰



経営速効助っ人事業（専門家派遣）

様々な分野の専門家派遣による企業の経営力強化

企業ニーズに応じた派遣

効果 人財育成や専門家派遣を通じ、企業経営力を強化し、地域経済を活性化！

担当：企業支援課

新 次世代“光”産業創生事業

【令和元年度予算額 53,200千円】
 (うち当初予算計上 44,000千円)

目的

新たな「LEDバレイ構想」を策定し、「光のすべての波長領域」にわたる新たな光関連産業の創出と集積拠点の形成を実現

- 地方大学・地域産業創生事業を核に、「次世代LED」の最先端研究や応用製品の開発・社会実装、光関連人材の育成を推進
- LED応用製品の高付加価値化と市場拡大、徳島ブランド構築に向けた取組みを推進

事業の概要

新分野を切り拓く次世代LED応用製品の社会実装

■ 次世代LEDの最先端研究

- ・ 徳島大学における新たな光源の開発と実用化（地方大学・地域産業創生事業）
- ・ 研究シーズと企業ニーズのマッチング、応用製品の開発

■ 新分野展開に向けた異業種・異分野連携の推進

光関連産業を支える若手人材の学びと雇用の場の創出

■ 光専門人材の育成と県内企業への就業促進、創業支援

- ・ 高等教育機関・工業技術センターにおける学生を対象にした専門人材の育成（地方大学・地域産業創生事業）
- ・ 将来の徳島の産業を担う小中学生を対象としたLED講座の開催
- ・ とくしま経済飛躍ファンドなどによる「県内企業の新事業展開」や「ベンチャー創業」支援

企業集積効果によるLED応用製品の高付加価値化と市場拡大

■ デザイナー等を活用した製品開発

- ・ 海外市場に向け、藍・LEDなどを活用したデザイン性の高い徳島ならではの製品開発を加速
- ・ とくしま経済飛躍ファンドによる開発支援



デザイナーと共同開発した製品

■ 東京常設展示場(新宿)の活用

- ・ 首都圏の販路開拓拠点として、県内企業の営業力強化、新事業展開を支援
- ・ 首都圏企業を対象としたマッチングツアーの実施
- ・ 次世代LEDに関する研究成果や本県の光産業創出の取組PRなど展示内容を充実



東京常設展示場

■ 国内外展示会への出展

- ・ 工業製品・生活用品分野で世界的な情報発信地である欧州エリアの大規模展示会(メゾン・エ・オブジェ)への出展支援
- ・ 国内展示会(ライティングフェア、チャレンジメッセ)への出展支援(6月補正)



徳島県ブース(メゾン・エ・オブジェ・パリ2019)

高度な光人材育成のためのリカレント教育の実施

■ 高等教育機関における光関連リカレント教育

- ・ 高度な知識・技術を有する「光関連」の企業人材の育成（地方大学・地域産業創生事業）
- ・ 産学官による企業技術者を対象とした光応用に関するLED総合フォーラムの開催(6月補正)



LED総合フォーラム2019

「光関連技術を習得し、展開するなら徳島！」のブランドの構築

■ 「藍・LEDと言えば徳島！」を発信

- ・ 2つのブルー「藍」と「LED」のポータルサイトなどによる魅力発信
- ・ 藍推進月間に合わせた県産LEDによる万代庁舎ライトアップ

■ とくしまオンリーワンLED製品認証制度

- ・ 県内LED関連企業の優れたLED応用製品を「とくしまブランドとして認証」

■ 東京常設展示場(新宿)の活用(再掲)



ブルーライトアップ(万代庁舎)

次世代“光”産業の創出と人材の好循環により、本県産業の更なる飛躍へ

担当：新未来産業課、工業技術センター

新 食品関連産業生産性向上支援事業

【令和元年度予算額29,706千円】

事業の目的

地域資源を活用した食品関連産業の生産性向上を図るため、四国地域連携による機能性食品関連分野の高付加価値化を促進し、新たな製品開発や技術力強化・事業拡大を支援する。

事業の概要

機能性食品関連分野の新製品開発を支援

呈味成分の高精度な評価分析

<地域未来オープンイノベーションプラットフォーム構築事業（経済産業省） H30年度2次補正>

「呈味成分分析装置」の導入

- クエン酸、リンゴ酸などの「有機酸」を高感度検出
- 単糖、オリゴ糖などの「糖」を蛍光検出
- 肉類、魚類、発酵食品などの「脂肪酸」を迅速に分析



甘味、酸味、旨味、コク等の呈味成分を総合的に評価

分析時間の短縮
多検体対応

呈味成分の詳細なエビデンス提示と商品設計の効率化による
高付加価値製品の創出
訴求力の向上

海外市場への展開にも対応

四国地域連携によるイノベーション支援

◆各県公設試験研究機関 「高次機能」新製品開発支援

- 徳島県「呈味」、香川県「香り」、愛媛県「機能性」、高知県「加工」をテーマとした最新機器の共同利用による連携
- ※高次機能：2次機能(味、香り)・3次機能(健康機能性)



4県連携による製品開発の効率化

◇産業技術総合研究所 四国センター

- 基礎研究による知見

◇産業支援機関

- (一財)四国産業・技術振興センター、金融機関 など
- 販路開拓・開発資金

事業の効果

■機能性食品関連分野の開発促進

■新製品開発のスピードアップ

食品関連産業の生産性向上！

担当：新未来産業課、工業技術センター

新「阿波藍」魅力創造発信プロジェクト

400年以上の歴史がある伝統産業・あわ文化4大モチーフの1つ

【令和元年度予算額 24,000千円】

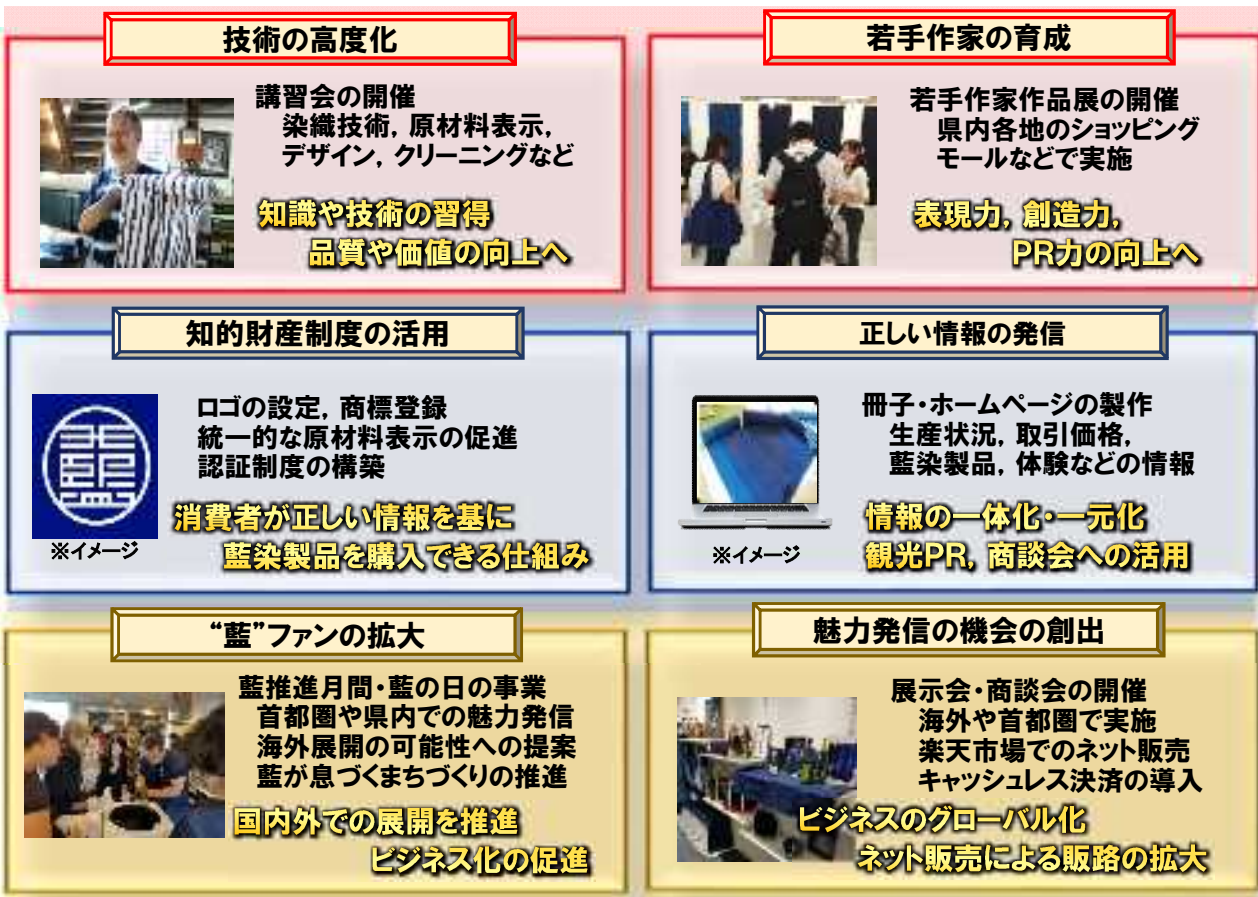
東京2020オリパラの公式エンブレムに藍色が採用・とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例を制定

徳島県民の「宝」である「阿波藍」を1000年先の未来へ繋ぐ



葉藍の生産振興
(作業の省力化や農福連携の更なる推進)

人材育成
付加価値
販路拡大
組織化



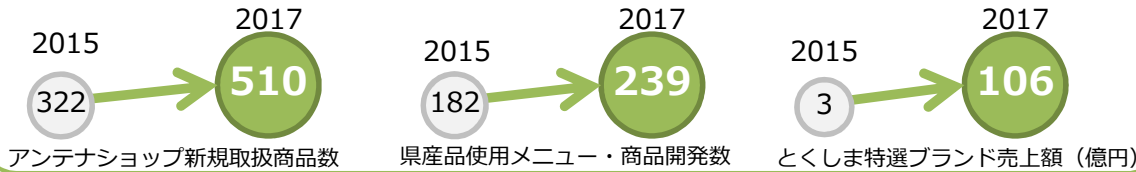
世界に通用する日本ブランドの地位を確立
藍産業の経済の好循環を構築・物産や観光の振興が図られる



新 とくしま県産品魅力発信支援事業

【令和元年度予算額7,500千円】
（うち当初予算計上6,000千円）

とくしま県産品振興戦略（第2期）の現状



(2019年度～2022年度)

とくしま県産品振興戦略（第3期）の 取組みがスタート

成果のさらなる高みと新たなステージへ向けた展開

1. 人材育成

新 海外市場も視野に入れた販売力のスキルアップ

- ネット販売の多言語化を推進
- インバウンドを取り込むための電子決済導入を促進



2. 市場開拓

アニメ等を活用した県産品の認知度向上

- アニメ情報発信拠点と連携した魅力発信
- 県産品との新たなコラボメニューを開発・提供



3. 商品開発

新 新たな視点を取り入れた商品開発

- SDGsやエシカルに配慮した商品展開を推進
- 県内高等学校とコラボした商品開発・販売



4. 情報発信

メディア戦略の強化

- STU48を活用し、全国各地で徳島の観光と物産をコラボしたプロモーションを実施



5. 販路拡大・販売促進

新 県産品ファンの拡大

- 県産品への理解や興味を深める出前講座を開催
- 県産品を通じた体験型ツアーを開催



新たな販路展開へのサポート

- 専門家による既存商品のブラッシュアップを支援
- バイヤーが求める「売れた実績」づくりを支援
- 国内外の新たな販路拡大を支援



徳島から国内外へ羽ばたく県産品の振興で地域経済を活性化！

新 地域交流等共生社会推進事業

【令和元年度予算額 98,100千円】

【現状と課題】

◆障がい者とその家族が地域で安心して暮らすために、障がい者の高齢化・重度化、家族の高齢化に対応する総合的な支援体制の構築が急務

さらに

◆地域の人口減少や高齢化、個人の価値観の多様化などにより、地域の人と人とのつながりが希薄化し、見守り機能の低下や相次ぐ自然災害への防災力向上等の課題が顕在化

地域の課題に対応する新しい形の福祉サービス体制を実装

地域生活支援拠点の整備

地域の障がい福祉サービス事業所、医療機関、市町村等関係機関との連携体制、常時の相談、緊急時の受入体制の構築

交流支援機能を付加

地域住民の交流推進

○交流スペース(ユニバーサルカフェ等)を確保

- ・障がい者のみならず、地域の方々を結び、つなげ、地域全体で互いに支え合う体制を構築し、世代や障がいの有無を超えた福祉拠点へ！



障がい福祉サービス事業所



医療機関



地域生活支援拠点施設



市町村



特別支援学校

平時は地域住民の交流拠点として！

防災機能を付加

障がい者の地域生活の安心確保

- 地域で生活する障がい者への多様なサービスを総合的に提供、支援
- 避難スペース(福祉避難所)を確保
 - ・地域防災への取組みに参加
 - ・発災時には障がい者をはじめとする要配慮者を支援する防災拠点へ！



非常時は障がい者等の防災拠点として！

地域の課題に対応する「地域力」の醸成を促進

地域の絆を深め、互いに支え合う地域共生社会の実現！

担当：障がい福祉課

農福連携による障がい者への就農促進支援

【令和元年度予算額 20,000千円】
【うち当初予算計上 15,000千円】

これまでの取組み

- 農業支援センター等による栽培技術への支援
- 共同受注窓口による農作物・加工品の県内外での販売
- 「藍」や「竹糖」をはじめとした徳島ならではの農福連携の推進

平均工賃
全国2位

就労支援施設の課題と不安

- ・ 農作物の栽培技術の向上
- ・ 障がい者の更なる意欲の向上
- ・ 農作物の安定的な販売先の確保



障がいのある方の
特性を活かした
取組みを支援し
農福連携による就農促進へ！



障がいのある方が魅力を感じ意欲を持って取り組める就農を目指して

農福連携による障がい者の就農促進事業 <当初>

- ・ 「農業の専門家」の派遣による施設の**農業技術の向上**
- ・ 「農福連携推進検討会」による**農作業と施設とのマッチング**と農業従事施設の拡大
- ・ 「農福マルシェ」の**開催**による農作物や6次化商品の認知度向上



藍栽培の推進



野菜の調整作業



農福マルシェ

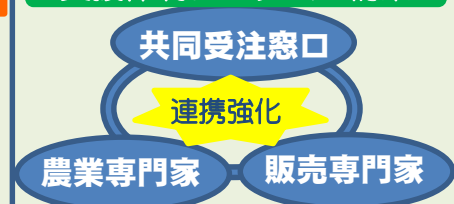
さらに加速化させるために生産から販売までの**一体的な支援システムを構築**

新 とくしま農福連携ネットワーク加速化事業 <6月補正>

- ・ 販路の確保・拡大に向けた**需要と供給の実態調査**
- ・ 専門家を交えた**生産から販売までの効率的な支援体制**の構築
(生産・販売ネットワークシステム構築、ICT・IoTの活用検討)
- ・ **定期販売協力店の発掘**や、エシカル消費を踏まえた農作物・加工品の販売力強化



支援体制システムの構築



マーケット拡大
への支援による
農福連携の
一層の促進

さらに！教育機関と連携

- 特別支援学校小・中学部が施設でインターンシップを実施 ▶ 障がい者の働きたい想いに応える就労の場を充実！ 【特別支援教育課予算<当初>】

一体的な取組みによる障がい者の活躍の場の創出・拡大

障がいのある方の「自立と社会参加」の実現へ

担当：障がい福祉課

新 発達障がい「つながる・ひろがる・はばたく」充実事業

【令和元年度予算額 9,800千円】
【うち当初予算計上 7,800千円】

これまでの取組

- 自律型学習教材による「学習支援」
- e-ラーニングを活用した「教員の専門性向上」
- 「ポジティブな行動支援」をモデル小学校で実践

取組の成果を「特別支援まなびの広場」としてホームページに公開中

発達障がい教育「徳島モデル」を構築

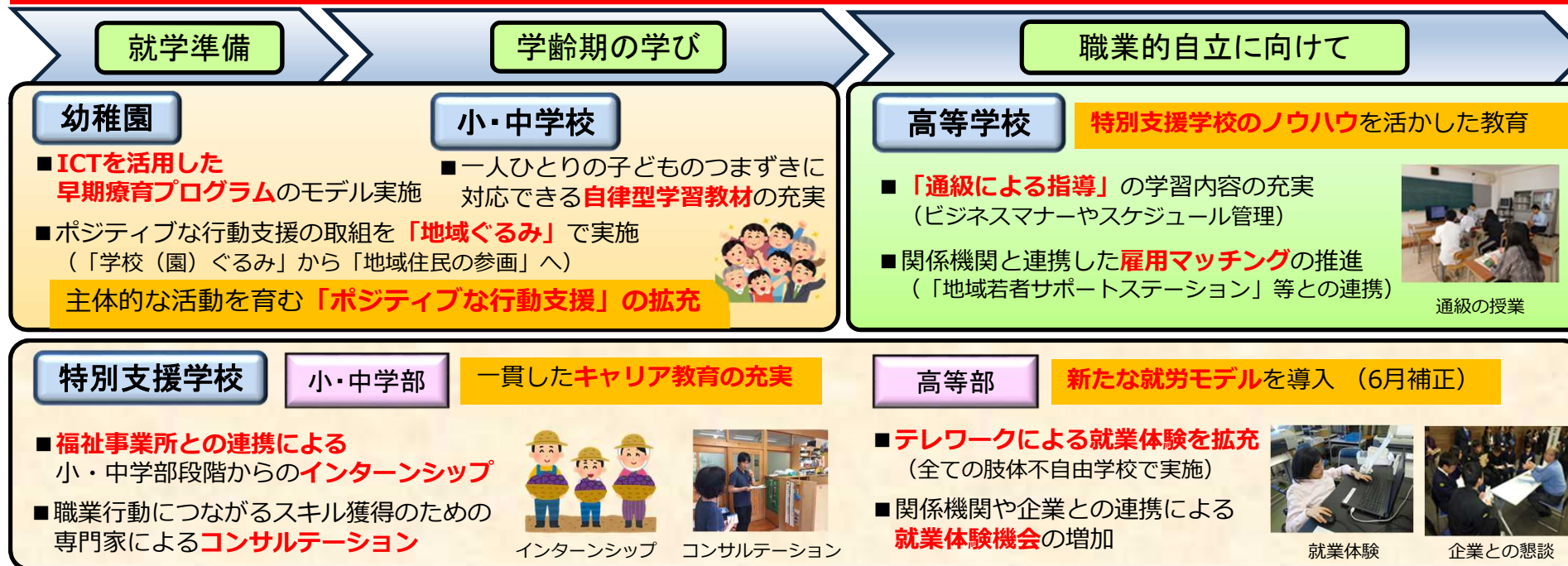
発達障がい教育・自立促進アドバイザーチームとの協働

ポジティブな行動支援実践校が10校に拡充！

ポジティブ行動支援で児童の社会性と主体性が向上！

“発達障がい教育先進県”として、さらなる充実・進化！

特別な支援を必要とする子どもへの切れ目ない支援体制を整備



発達障がいのある子どもたちの社会的・職業的自立の推進

担当：特別支援教育課

すべての利用者にやさしい県庁舎の実現に向けて

⑧ 万代庁舎ユニバーサルデザイン促進事業

【令和元年度予算額 10,000千円】

万代庁舎スマートリノベーション事業

【令和元年度予算額 325,701千円】
(うち当初予算計上 227,374千円)

現状・課題

- 少子高齢化の進行・国際化の進展
- 生活様式の多様化 など

社会環境が大きく変化



すべての人が暮らしやすいまちづくりに取り組むことが重要！

- 万代庁舎の設備(空調・給排水衛生)は老朽化
- 社会的要求水準への対応の遅れ など

庁舎機能の低下



庁舎の機能向上・防災力強化などの強靱化が必要！

対応・取組み

これまで

- ☑ 多目的トイレの機能拡充
 - ☑ 音声標識ガイド装置
 - ☑ パーキングパーミット用駐車枠の増設 など
- ユニバーサルに係る取組みを推進



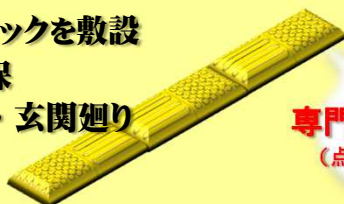
これから

➤ 視覚障がい者用誘導ブロックの整備【6月補正】 (誘導ブロックの整備事例)

✓ JIS規格の形状のブロックを敷設

※ 周囲との明度差を確保

改修場所:プロムナード・玄関廻り



専門家の意見を反映

(点字ブロックのあり方について意見を聴く会)

これまで

- 中長期予防保全計画に基づき「予防保全」・「改良保全」を計画的に実施
- ☑ 受変電設備の更新
 - ☑ 昇降機のリニューアル
- 防災力強化・設備の性能UP

これから

【6月補正】

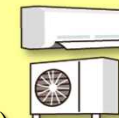
➤ 一般空調設備・給排水衛生設備の大規模改修工事

✓ 空調送風機更新・災害拠点室個別空調化(省エネ・防災力)

✓ 便器の洋式化・オストメイト対応器具の追加(ユニバーサル)

✓ トイレ床の段差解消(ユニバーサル) ✓ トイレ照明のLED化(省エネ)

✓ 防災井戸・太陽熱集熱器の新設(防災力)



庁舎利用者の利便性・安全性の向上！ 働きやすく快適なオフィス(ウェルネスオフィス)への転換！

担当:管財課

住むなら徳島！外国人とともに輝く地域づくり

⑧地域とつなぐ！在住外国人支援事業【令和元年度予算額 25,100千円】
(うち当初予算計上 10,000千円)

⑨外国人労働相談サポート事業【令和元年度予算額 2,300千円】

背景

- 平成30年末の日本の在留外国人の人数は、約273万人で過去最高を更新し、県内においても、6,073人と増加傾向
- 三大国際スポーツ大会や大阪・関西万博が開催されることから、**外国人は大幅増の見込み**
- 平成31年4月から**新たな在留資格に基づく外国人労働者**の受け入れ開始

外国人の円滑な受け入れ、共生社会の実現に向けて、国が示した「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」に基づき外国人支援を強化

「総合的対応策」で示される地方公共団体に求める対応策

- 行政・生活全般の情報提供・相談を多言語で行う一元的窓口となる「多文化共生総合相談ワンストップセンター」の設置
- 外国人の受け入れ環境整備、地域住民と外国人材の交流事業
- 地域での安定した就労の支援や外国人労働相談の充実 等

国の動きに呼応した外国人支援が必要！

多言語対応による相談窓口の機能強化 【当初及び6月補正】

とくしま国際戦略センターと南部・西部総合県民局の相談窓口に、多言語翻訳システムや3者間通話を導入し、11言語（ネパール語、インドネシア語、タガログ語等）に対応（6月補正）

とくしま国際戦略センターと南部・西部総合県民局との連携によるインバウンドにも対応した相談体制の拡充（6月補正）

専門的な相談窓口（消費相談等）の設置（6月補正）

●英語・中国語・ベトナム語に対応した「多言語相談員」を配置

●市町村、労働局、入国在留管理庁等とのネットワークを強化し、シームレスな連携を図る



外国人受け入れ環境の整備、地域住民との交流促進 【当初】

とくしま国際戦略センターに「地域外国人コーディネーター」を配置
外国人の実態把握及び受入体制の整備

●外国人の地域活動への参加促進
(交流会、地域での文化体験等)

●防災訓練等の開催による災害時外国人支援体制の整備



きめ細やかな労働相談体制の構築 【6月補正】

すだちくんコールFAQ
ワンストップ化
24時間・365日対応
→「とくしま丸ごとAI
コンシェルジュ(仮称)事業」

●多言語翻訳システムを活用した「労働相談」を実施
(専門相談員によるサポート)



すだちくんハローワーク

パワーアップ

多文化共生を促進し、多くの外国人に選ばれる徳島に！

担当：労働雇用戦略課、国際課



新 とくしま共に生きるフェスタ開催事業

【令和元年度予算額 6,772千円】

現状・課題

多様化・複雑化する人権課題

- ・訪日外国人、外国人労働者の増大(2020東京オリ・パラ等)
- ・インターネット上の人権侵害の深刻化
- ・性的マイノリティ(性同一性障がい、性的指向)

新たな法律への対応

- ・障害者差別解消法(H28.4.1施行)
- ・ヘイトスピーチ解消法(H28.6.3施行)
- ・部落差別解消推進法(H28.12.16施行)
- ・改正入管法(出入国管理及び難民認定法等)(H31.4.1施行)

施策の方向性

「とくしま共に生きるフェスタ2019」の開催

- ・県民の**人権意識の高揚**に向け
人権に関する各種啓発事業を
一体的・総合的に展開



令和元年度のメインテーマ

- ☆ **国際理解・多文化共生**
- ☆ **外国人(労働者)に関する人権**



「とくしま共に生きるフェスタ2019」の概要

地域へのアウトリーチ型啓発

令和元年度は**県西部**で開催

○講演会の開催

- ・テーマ: **国際理解・多文化共生**
- ・講師: 一般県民の方が気軽に参加できる著名人



H30牟岐町役場

○まちかどパネル展の実施

- ・開催市町村と連携
- ・**多文化共生社会**の紹介

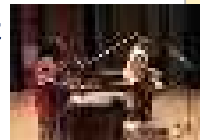
※県内**各地域を巡回**して開催

H30: 牟岐町、H29: 板野町、H28: 阿波市

各種団体との連携による啓発

○国際交流に取り組む団体

- ・**音楽や文化**などを通じた
外国人との**交流体験**



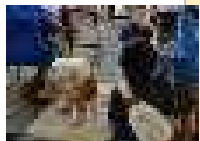
アフリカ音楽

○人権擁護委員連合会

- ・子どもの手作り工作コーナー
人権相談

○徳島の盲導犬を育てる会

- ・盲導犬ふれあいコーナー
啓発パネル展示



盲導犬コーナー

若者の積極的参画による啓発

- 「若者発！人権啓発映像コンテンツ
発信事業」の表彰式、優秀作品の発表
- ・**高校生、大学生等**が企画・制作した
「人権啓発動画(CM)」



啓発動画表彰式

- 人権に関する児童生徒の
優秀作品の展示
- ・**標語ポスター・書道・作文**

○子どもたちのフェスティバル参加

- ・**地元の児童生徒**による
オープニングアクト出演

相互に共存し得る多文化共生社会の実現へ！

担当: 男女参画・人権課

新 女性活躍ステージアップ事業

【令和元年度予算額 4,300千円】

施策の背景

- ◆ 少子高齢化・人口減少社会の到来
↳ 「最大の潜在力」と言われる「女性活躍」を推進
- ◆ 「男女共同参画」に向けた本県ならではの啓発強化

「とくしまフューチャーアカデミー」を発展・進化

施策の内容

啓発

◇ 男女協調週間(7/7~13)を男女協調月間(7月・8月)へ拡大!

○ 女性の活躍に向けたシンポジウム等



○ 男性に向けた意識啓発プログラム



○ 男女共同参画立県とくしまづくり表彰等



育成

◇ 「職業観醸成」と世代に応じた「リカレント教育」を実施!

10代

40代~



母親しか
ロールモデルを知らないわ...



20~30代

平成30年度から開講中

子育て中だし、仕事なんて...
とりえず目の前の仕事はしてるけど...



責任ある地位なんて...
介護があるから、家を出られない...



職業観醸成

○ 「出前啓発」により
勤労観・職業観を醸成

メンター講師

人材育成
1stステージ

○ 「政策・方針決定過程」への
女性・若者参画拡大に向けた人材育成

人材育成
2ndステージ

○ 更なる「自己実現」と
「社会貢献」に向けた人材育成

交流

◇ 「受講生」「修了生」「現リーダー」が繋がる場の創出!

メンター
カフェ

- 世代を超えた交流の実現!
- メンターから受講生への助言により受講効果アップ!
- 専門的・高度な育成課程へスムーズに移行!

受講生

次の世代を育てたい!

メンター(修了生)

活躍の土台となる人とのつながりと
活躍人材育成の好循環を創出!

女性リーダー



各分野において女性が活躍 → 審議会等への参画

政策方針決定過程への女性参画促進により男女共同参画社会を実現!

新 女性活躍ワンストップサービスセンター(仮称)創設事業

【令和元年度予算額 10,000千円】

施策の背景

- ◆女性活躍推進法
 - ◆働き方改革関連法
 - ◆第4次「徳島県男女共同参画基本計画」策定
- 施行

県内の女性活躍を加速する必要

「ときわプラザ(県男女共同参画交流センター)」の更なる支援機能の充実

現状・課題

ときわプラザ

2階

ときわホール
研修室
学習室
託児室 等

複数階は不便！
学習室が狭い！
図書検索し易く！
Wi-Fiが使えない！

1階

事務室
図書資料室
相談室
作業室 等

就労相談がない！

子ども一時的預かり
機能の充実を！



施策の内容

推進拠点機能

ワンフロア化で利便性アップ

- ★事務室等を2階に移転し全ての機能をワンフロア化！
- ★学習室の拡張で交流機能向上！リカレント教育推進！
- ★タブレット端末による図書検索やWi-Fi整備等による利便性アップ！

◇教育・啓発機能の拡大により、女性活躍への側面的支援拡大！



相談支援機能

就労相談機能をプラス

- ★「すだちくんハローワーク」と連携したサテライトでの就労相談を実施！
- ★相談機能とのシナジーにより複合的な問題にワンストップで対応！

◇就労につながる支援により、職業生活における女性活躍推進！



子育て支援機能

気軽に利用できる一時的預かり機能の充実

- ★一時的預かり機能の充実により子育て世代のニーズに対応！
- ★平日の就労相談等の各種相談時や週末のイベント参加時にも気軽に利用可！

◇子育てと教育や就労支援の両立により、女性活躍を推進！



様々なニーズをお持ちの県民の皆様が気軽に訪れることのできる拠点施設へ！

活躍を加速することで、女性が輝くとくしまづくりを実現！



旧優生保護法一時金支給等関係事業

【令和元年度予算額 18,345千円】

平成31年4月24日成立
公布・施行

旧優生保護法 (S23~H8)

優生上の見地から不良な子孫の出生を防止し、母性の生命健康を保護することを目的に、遺伝性疾患等を持つ者に対し、本人の同意がなくても不妊手術が行えることなどを規定した法律

政府
・与党ワーキングチーム
及び
・超党派議連
↓
救済法案検討

「旧優生保護法に基づく優生手術を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」(議員立法)

- 対象者:「手術を受けた本人」で「法施行日において“生存している方”」
- 一時金:一律「320万円」
- 受給認定:厚生労働大臣(都道府県を經由可)
- 請求期限:法施行後5年間
- 相談体制の整備及び制度に関する周知啓発

プライバシーに配慮した一時金「支給受付」の実施、「相談体制」の確保、当事者の方や家族の方々への周知啓発

一時金「支給受付」及び「相談」窓口の設置

- 一時金「専用ダイヤル」設置
場所:健康づくり課
電話番号088-621-2300(土日祝日含む)
- 一時金「支給受付」「相談窓口」設置
場所:健康づくり課及び県内6保健所
時間:月~金(土日祝日除く)
午前9時から午後5時まで
※各窓口とも、個室にて受付・相談実施

支給手続きに関する周知啓発

- 「県庁だより」、ラジオ、県ホームページ等での周知
- 案内チラシの作成・配布
- 各種手帳の更新手続き等の機会を利用した周知
- 支給手続きに関する説明会の開催
- 介護福祉施設等関係機関へ広報用チラシ等の掲示依頼

関係機関との連携

- 県医師会等への協力依頼
- 市町村、医療機関、各団体、障がい者施設等へ周知啓発・申請手続き等に関する協力依頼

担当:健康づくり課

発達障がい者支援のさらなる進化



【令和元年度予算額 20,821千円】
 (うち当初予算計上 19,469千円)

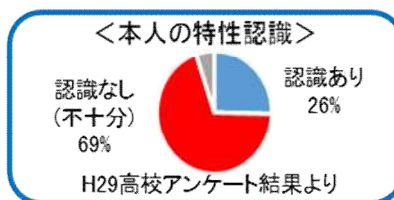
これまでの取組みと成果

- ・きめ細やかな相談体制の整備
- ・就労と定着に向けた支援
- ・社会の正しい理解の促進
- ・大規模災害への対応



新たな課題

- ・地域の支援力強化
- ・職場定着と企業理解の促進
- ・気づき支援の充実
- ・災害対応力の向上



今後の方向性

- ・地域支援体制の強化
- ・就労支援事業の強化
- ・理解促進・研修事業の強化
- ・災害時の支援体制の充実

相談・発達支援機能

就労支援機能

研修・普及啓発機能

とくしま発達障がい者総合支援事業<当初>

- ・困難事例への対応充実強化
- ・保護者支援の充実
- ・ピアグループ育成の充実



- ・就労準備支援の強化
- ・ジョブトレIN事業所の拡大
- ・就労と職場定着の支援



- ・タブレットの活用
- ・災害時サポート体制強化
- ・センターの避難環境の向上



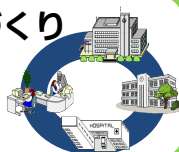
地域支援体制の強化!

就労支援事業の強化!

理解促進・研修事業の強化!

新 発達障がい支援機能強化事業<6月補正>

- ・地域支援機能強化の仕組みづくり
- ・地域支援マネジャーの創設など
- ・後方支援の充実強化



- ・“働く大人に育てる”モデル高校との連携
- ・学生、保護者、関係者を対象としたキャリア教育



- ・発達障がい者支援専門員の養成
- ・発達障がいサポーターの養成
- ・好事例からの学びと実践



発達障がいのある方が自立し社会参加する地域共生社会の実現!

担当: 発達障がい者総合支援センター

特別支援学校「みんなが主役」きらめき事業

【令和元年度予算額 12,000千円】
（うち当初予算計上 10,000千円）

＜文化・スポーツで才能開花＞

音楽・美術や障がい者スポーツをとおして、
児童生徒の「秘められた力」を発現



文化で主役！

「専門家・企業との
コラボレーション」

- ◆音楽・美術の専門家を迎え、
体験的な音楽学習や3Dアートの制作
- ◆企業等と連携した作品展の開催



芸術的才能を開花し、
地域に積極的に発信！

スポーツで主役！

「ボッチャにチャレンジ！」

- ◆全ての特別支援学校でボッチャを**実践**
- ◆マラソンをはじめ、地域でのスポーツ
活動への参加を促進



スポーツをとおして、
地域との交流を推進！



＜地域社会で実力発揮＞

職業スキルを生かして、特別支援学校の生徒が
「地域の元気カアッ」に貢献



仕事で主役！

「ゆめチャレンジ・フェスティバル」

- ◆生徒が運営に参画し、
働きたい想いと職業スキルを披露
- ◆近隣中学生への体験機会を提供



生徒の力をアピールし、
企業とのマッチングを強化！

地域で主役！

「四国霊場札所でお接待」

- ◆お接待の実施校を増加
- ◆特別支援学校間で連携し、
リサイクル作品の配布や展示



特別支援学校ならではの
エシカル消費をアピール！



児童生徒一人ひとりが「主役」となり、地域に貢献する、地域を元気にする特別支援教育を推進

新 SNS活用「生徒の心の相談」実証事業

【令和元年度予算額 8,000千円】

平成30年度実証実験から

概要

- ・対象：県内公立中・高等学校，特別支援学校中学部・高等部の生徒
- ・期間：平成30年8月21日から10月19日（60日間）
- ・時間：午後6時から午後9時

結果

- ・相談件数：333件 **児童生徒からの電話相談の10倍！（同期間）**
- ・平均相談時間：67.8分
- ・主な相談内容：①友人関係 ②いじめ ③恋愛の悩み ④不登校等
【アンケート回答（抜粋）】

- ・ぐちっぽいことも親身に聴いてくれた
- ・ほめてもらい自己肯定感が上がった
- ・初めて親以外の大人に相談できた
- ・気持ちが楽になった



電話や対面相談では対応しきれない子どもの増加

若者のコミュニケーション手段の中心がSNSに移行

LINE相談は悩みを気軽に相談できる窓口として有効！

生徒の心に寄り添う相談体制の構築

事業内容（予定）

LINEを活用した双方向の無料相談

- ◇対象：県内公立中・高等学校，特別支援学校中学部・高等部の生徒
- ◇期間：夏季休業日明けを挟む約70日間
- ◇時間：午後6時から午後9時

拡充・強化

- ◎相談期間の延長
- ◎相談が多かった時期・時間帯に相談員を重点配置
- ◎周知カードの積極的活用による広報活動の充実



緊急性が高い相談に備えた関係機関との連携強化
◎新たに児童相談所と連携し虐待問題への対応を強化



声かけやアドバイスの仕方等を学校へフィードバック

生徒が抱える悩みに向き合い
問題の深刻化を未然防止

担当：総合教育センター